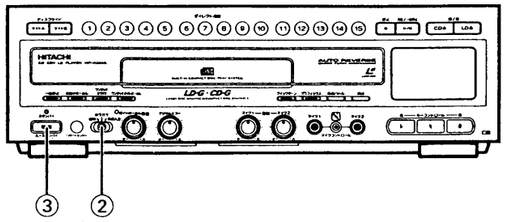
デモモードについて



デモモードにすると、採点機能と採点バトル機能の点数表示のしかたを見ることができます。

<操作方法>

① 本機に接続したテレビの電源を入れます。
- テレビの入力切り換えをVTR・VCR・VDなどにします。

② 標準／カラオケ／外部入力切り換えスイッチを“カラオケ”にします。

③本機の電源を入れます。

<デモモードを解除する方法>
- 本機のいずれかのボタンを押してください。

おや? 上記手順2で、標準にして電源を入れるとデモ表示はしません。

プロジェクションTVをご使用になる場合は、デモモードでの長時間の放置は避けてください。内部のブラウン管に画像焼き付きが発生することがあります。

新商品情報・商品選択など 家電品のお買物相談を承る窓口
0120-312111
お買物相談センター

株式会社 日立製作所 〒105 東京都港区西新橋2−15−12
電話(03)3502−2111

VRA 1108-A

HITACHI
品質を大切にする〈技術の日立〉

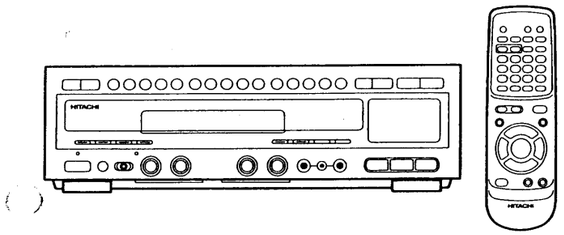
取扱説明書

日立マルチレーザーディスクプレーヤー
CD CDV CD-G LD LD-G PLAYER

VIP-KZ88G形

SC

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　LASER DISC　COMPACT disc DIGITAL AUDIO GRAPHICS　LD-G LASER DISC GRAPHICS



このたびは日立マルチレーザーディスクプレーヤー、VIP-KZ88Gをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「**取扱説明書**」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに保存してください。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

目次

		ページ
操作前の準備	使用上のご注意	2
	ご使用のまえに	3
	本機で再生できるディスクの種類	4
	レーザーディスクプレーヤーのつなぎかた	5
	ディスクをセットする前に	11
	各部のなまえと働き	12
カラオケ操作	カラオケを楽しむとき	14
	●操作をはじめるには	14
	●操作が終了したら	15
	●好みの音に調整するには	16
	●マイクでできる操作	16
	●カラオケの練習に便利な機能	16
	●カラオケの練習に便利な機能—LDの場合	17
	●CD/CD-Gディスクや外部入力でカラオケを楽しむとき	18
	●自分の歌を採点するには（採点機能）	19
	●2人の歌を同時に採点するには（採点バトル）	20
一般操作	カラオケ以外の操作	22
	●映画・音楽ディスクを再生するには	22
	●音声を切り換えるには	23
	●映画ディスクを楽しむ場合	23
	●LD・CDグラフィックスを楽しむ	24
	●希望の場面や曲から演奏するとき	26
	●静止画／コマ送り（CAVのみ）	27
	●見たい場面を探すには	27
	●プログラム操作	28
	●繰り返して見る・聞く	30
その他	画面表示について	31
	故障かな…とお考えの前に	32
	用語	35
	仕様	36
	保証とアフターサービスについて（必ずお読みください）	36
	デモモードについて	裏表紙

使用上のご注意

再生中は本機を絶対に動かさないでください

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。

本機を移動する場合

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出し、ディスクテーブルを本機に戻し電源スイッチをOFFにし、表示窓の「OFF」インジケーターが消えてから電源コードを抜いてください。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。
- カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光が当たる所
- 極端に暑い所や寒い所
- ほこりの多い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 振動のある所
- 油煙、蒸気、熱などが当たる所（台所など）

浮遊物の多い所も避けてください

本機内の対物レンズやセンサーの表面にゴミや浮遊物などが付着いたしますと、正常な動作をしなくなることがあります。設置場所により定期的な清掃が必要になります。詳細は、お買い求めの販売店にご相談ください。

重い物をのせないでください

本機の上に重いものをのせないでください

熱を受けないようにしてください

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

密閉したラックに入れないでください

密閉したラックなどに収納すると、温度が上昇し、ディスクを傷めることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると内部（動作部やレンズ）に水滴がつきます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温にたもてば水滴が消え再生できるようになります。
夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接当たると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

超音波加湿器について

本機の周囲での超音波加湿器のご使用はさけてください。本機の周囲で使用いたしますと、加湿器に使用する水の水質によっては、水中にとけているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機の対物レンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがありますのでご注意ください。

本機を使わないときは電源を切っておいてください

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
また、長時間テレビを見るときも電源は切ってください。
FMやAM放送を受信しているとき、本機の電源が入っていると受信音に雑音が入ることがあります。本機を使用しないときは電源を切ってください。

プロジェクションTVをご使用になる場合

デモモード（裏表紙をご覧ください）での長時間の放置は避けてください。内部のブラウン管に画像焼き付きが発生することがあります。

本機のお手入れ

本機の表面は柔らかい布で乾ぶきしてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと汚れをふき取り、その後乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと表面の仕上げを傷めるので、使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

ガラスドア付ラックに入れた時のご注意

リモコンの開／閉(▲)ボタンを押してディスクテーブルを開くとき、ガラスドアに当たらないように注意してください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

ご使用のまえに

ご注意 —故障の原因となる事柄についての注意文です。必ずお読みください。

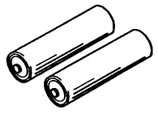
なるほど —アドバイス、または聞きなれない用語についての説明です。

おや? —操作中に「おや？」と思われるかもしれない事柄について説明しています。

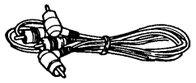
—リモコンのマークです。このマークの操作は、リモコンでできます。

付属品の確認

単4形乾電池
(R03/UM-4) 2個

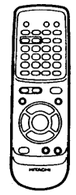


オーディオコード



ビデオコード

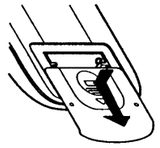
リモートコントロールユニット

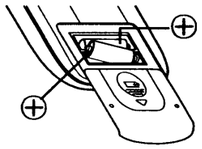


取扱説明書
保証書
ご相談窓口一覧表

電池の入れ方

1. 裏側のふたを開ける
2. ⊕、⊖の向きに注意して電池をはめ込む
3. ふたを閉める





おや? 直射日光や蛍光灯の強い光が直接本体のリモコンセンサー受光窓に当たっているとリモコン操作ができない場合があります。
そのようなときは、設置場所を変えるか蛍光灯をセンサー受光窓から離してください。

ご注意 **乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。**

①乾電池は⊕プラスと⊖マイナスの向きを、間違えないように正しく入れてください。
②新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
③種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）を混ぜて使用しないでください。
④長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
⑤乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

本機で再生できるディスクの種類

本機は、マルチレーザーディスクプレーヤーです。
- 下表に表示されたマークはディスクのレーベル、またはジャケットに付いています。
  本機は、下記の7種類のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
- 故障などを防ぐため、8cmアダプター（CD用）や20cmアダプター（LD用）は使わないでください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間	
CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO GRAPHICS (CDグラフィックス)	CD 12 cm/片面	74分	
	CDシングル 8 cm/片面	20分	
CDV CD VIDEO	CDV 12 cm/片面	デジタル音声 20分 デジタル音声＋映像 5分	
VSD VIDEO SINGLE DISC	VSD 12 cm/片面	デジタル音声＋映像 5分	
レーザーディスク LASER DISC	LD 30 cm/両面	CAV	1時間
		CLV	2時間
	LD 20 cm/両面	CAV	28分
		CLV	40分
LaserVision LD-G LASER DISC GRAPHICS (LDグラフィックス) LD CD VIDEO	LDシングル 20 cm/片面	CAV	14分
		CLV	20分

上記以外は再生できません。
（例）ビデオCD、CD-ROM、LD-ROM、ハイビジョンLD等は再生できません。

ご注意

ビデオCD［COMPACT disc DIGITAL VIDEO または VIDEO CD］は

再生できません。
（ビデオCDとは、MPEG方式で最大74分のデジタル画像／音声が記録されているディスクです。）

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。
他のテレビ方式（PAL、SECAM）のディスクは使用できません。

ディスクを無断で複製、放送、上映、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

お手入れ

より良い画質と音質をお楽しみいただくため、ディスク面が汚れた場合は柔らかい布などで拭き取ってください。拭くときは、必ずディスクの内側から外側に向かって拭いてください。従来のレコードのように円周に沿って拭かないでください。

放射状にふく

- レコードクリーナー、ベンジン、シンナー、静電気防止剤等は使わないでください。

レンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービス（36ページ）をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているLD/CDレンズクリーナーにはレンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

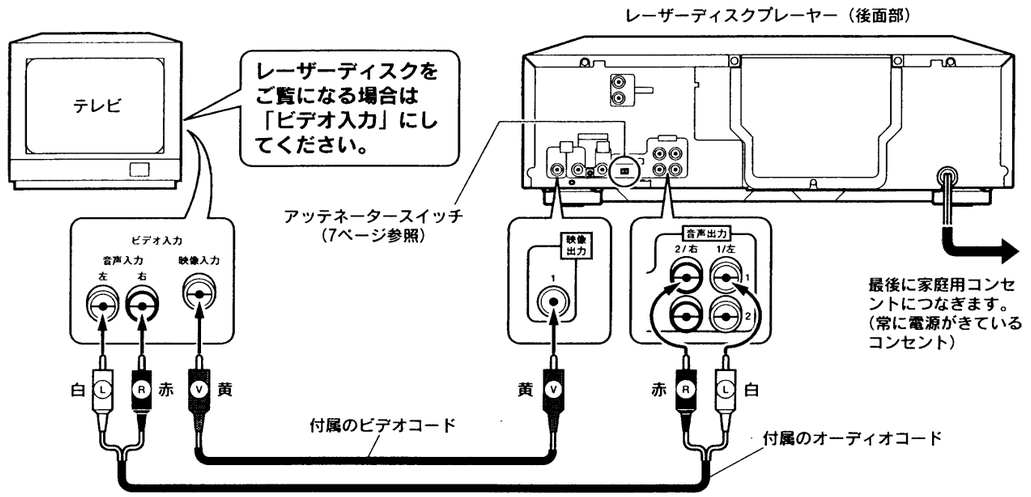
保管

使用後はディスクをプレーヤーから必ず取り出して、ジャケットやケースにしまい、垂直に保管してください。斜めにしたり、積み重ねておくとディスクがそる場合があります。直射日光が当たる所、高温多湿な所などに置かないでください。

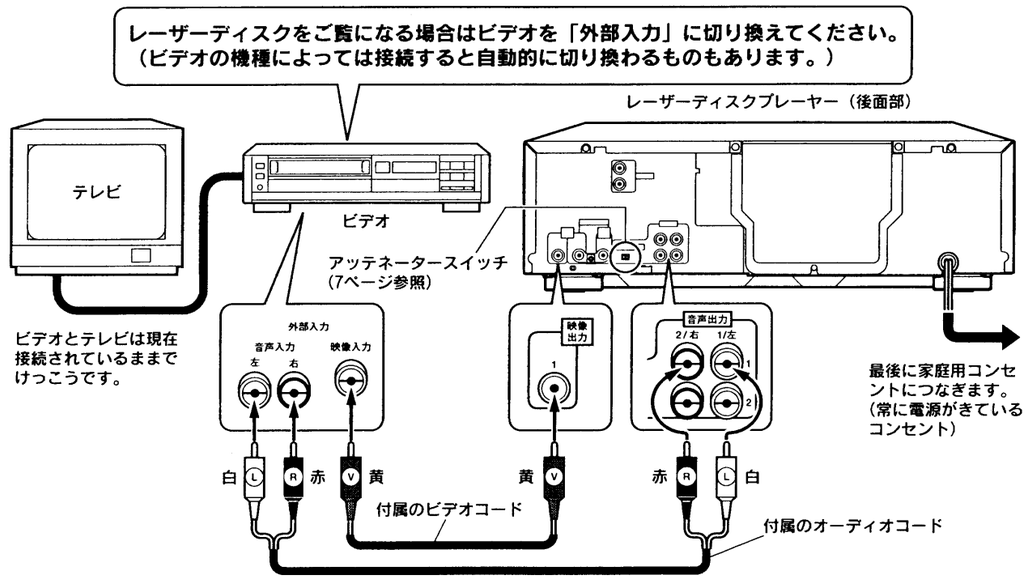
レーザーディスクプレーヤーのつなぎかた

まず、端子の色分けをご理解ください。映像＝黄色、音声＝白色（左）・赤色（右）
（それぞれ同じ色どうしを接続してください。）
- すべての接続が終わってから電源コンセントへつないでください。
- コードは端子の奥までしっかり差し込んでください。
- ご使用になっているテレビ・ビデオ の取扱説明書も合わせてご覧ください。

❶テレビに映像／音声入力端子がある場合（テレビの入力端子が2系統ある場合など）

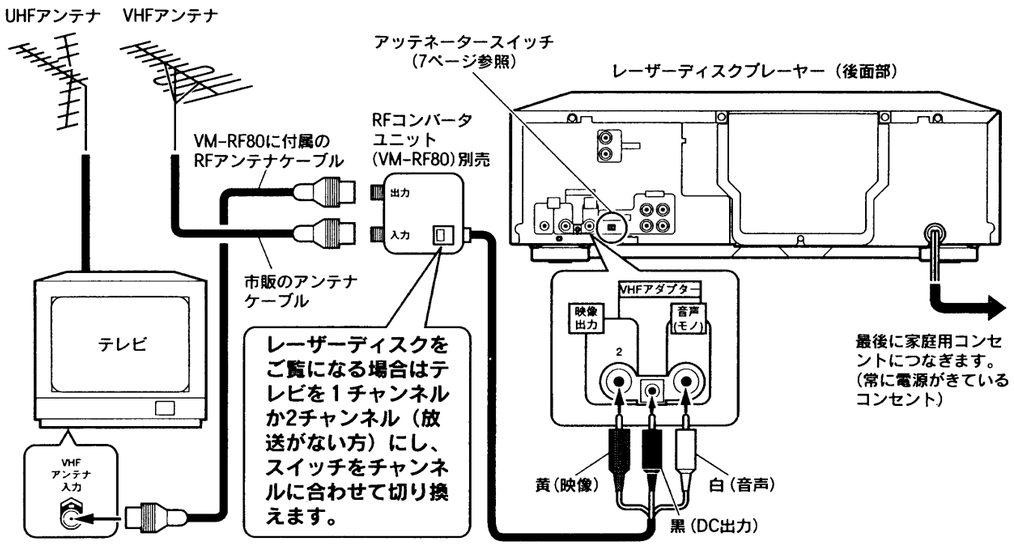


❷ビデオを経由して接続する場合（テレビの入力端子に空きがない場合）



❸テレビに映像／音声入力端子がない場合(別売りのRFコンバーターユニットVM-RF80を使ってつなぎます。)

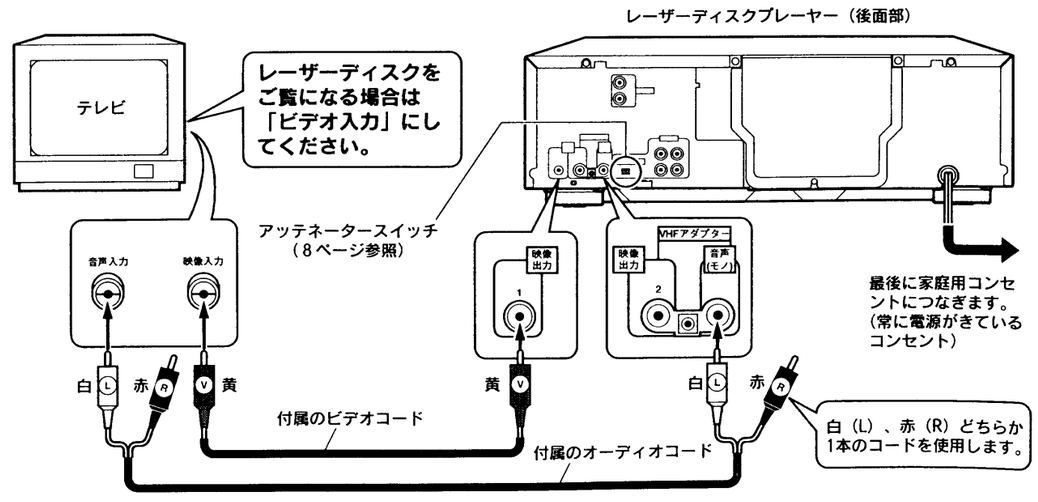
● RFコンバーターユニット（VM-RF80）の取り付けについて詳しくは8ページをご覧ください。



- 空チャンネルとはテレビ局が使用していないチャンネルです。（たとえば東京地区では2チャンネル、大阪地区では1チャンネル）
- この接続ではレーザーディスクプレーヤーの再生をしながらテレビ放送は見られません。
- テレビをご覧になる場合はレーザーディスクプレーヤーの電源を切ってください。

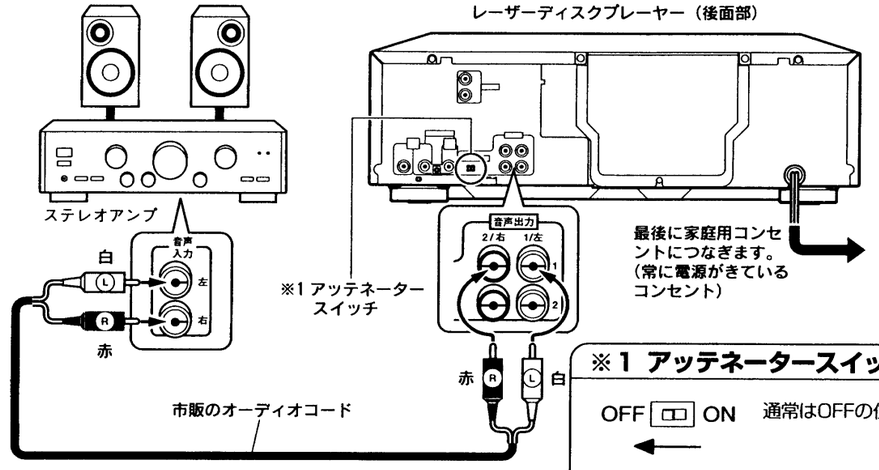
ご注意 テレビによっては、LDディスクを再生すると画面にしま状のノイズが発生することがあります。その場合はアンテナケーブルを電源コードから遠ざけてノイズがなくなる位置でご使用ください。

❹モノラルテレビ（音声入力端子が1つである）につなぐ場合



❺ステレオアンプもつないで楽しむ場合

- ❶〜❹の方法でテレビと接続されているときに、さらにステレオアンプへ接続する方法です。
- コンパクトディスクやレーザーディスクの音声をより良く再生するためには、ステレオアンプとの接続をおすすめします。LD、CD、AUXなどの入力端子に接続します。（PHONO入力端子には絶対に接続しないでください。音がひずみます。）
- 詳しくはステレオアンプの取扱説明書をご覧ください。



※1 アッテネータースイッチの使い方

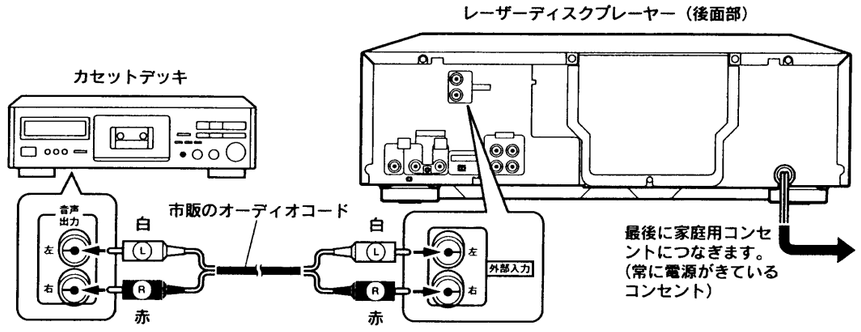
OFF ON 通常はOFFの位置で使用します。

OFF ON カラオケ時、音がひずんで聞きずらいときON側にしてください。

❻外部入力端子へ他の機器を接続する場合（カセットデッキなど）

- お手持ちのカセットデッキやラジカセ（出力端子付き）等を利用してテープカラオケができます。

①本機の外部入力端子と外部機器の出力端子を接続します。
②標準／カラオケ／外部入力切り換えスイッチを外部入力に合わせます。



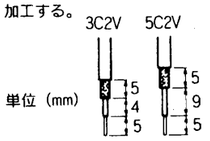
別売りのRFコンバーターユニット(VM-RF80)の取り付けについて

■ VHFテレビアンテナの接続

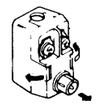
ご使用のテレビに接続されているVHFテレビアンテナのケーブルをはずし、RFコンバーターユニットの入力端子に接続します。
ケーブルの先端が入力端子に適合しない場合には、市販のアンテナアダプターを取り付けてください。

市販のアンテナアダプターの取付けかた
〈75Ω同軸ケーブルの場合〉

① ケーブルの先端を加工する。

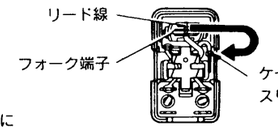


② カバーをはずす。

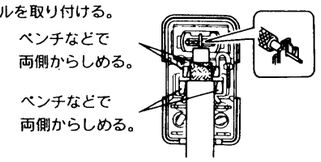


両側のツメを外側に開いてはずす。

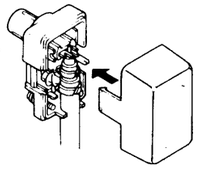
③ リード線をフォーク端子のスリットからはずし、ケースのスリットに差し込む。



④ ケーブルを取り付ける。

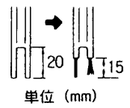


⑤ カバーをもとに戻す。

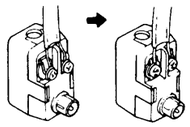


〈300Ω平行フィーダーの場合〉

① フィーダー線先端の絶縁体を図のように取り除く。



②300Ω端子に取り付ける。



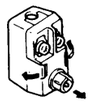
ネジをゆるめてフィーダー線を巻き付け、ネジをしめる。

■ テレビとの接続(1)

RFアンテナケーブルとアンテナアダプター[共に別売りのRFコンバーターユニット（VM-RF80）に付属のものを使用]を使いRFコンバーターユニットの出力端子とテレビのVHF端子を接続します。

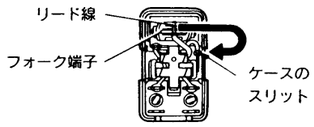
別売りのRFコンバーターユニット（VM-RF80）に付属のアンテナアダプターの取付けかた
〈RFアンテナケーブル（VM-RF80に付属）の場合〉

①カバーをはずす。

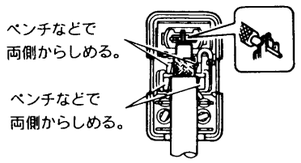


両側のツメを外側に開いてはずす。

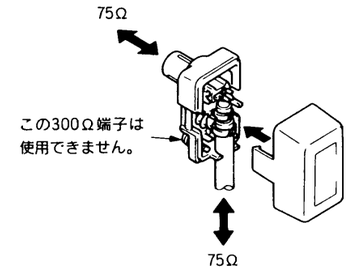
② 2本のリード線は不要のため、フォーク端子のスリットからはずし（半田付けされている場合は切断します。）ケースのスリットに差し込んで止める。



③ケーブルを取り付ける。



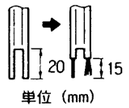
④カバーをもとに戻す。



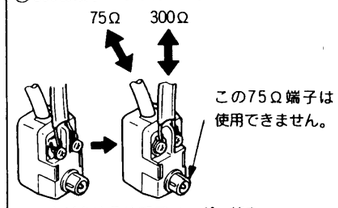
〈75Ωから300Ω平行フィーダーへ変換する場合〉

①アンテナアダプターを左記①③④の手順で取り付けます。
ご注意：左記手順で②のように2本のリード線をはずしたり、切ったりすると変換することができなくなります。

②フィーダー線先端の絶縁体を図のように取り除く。



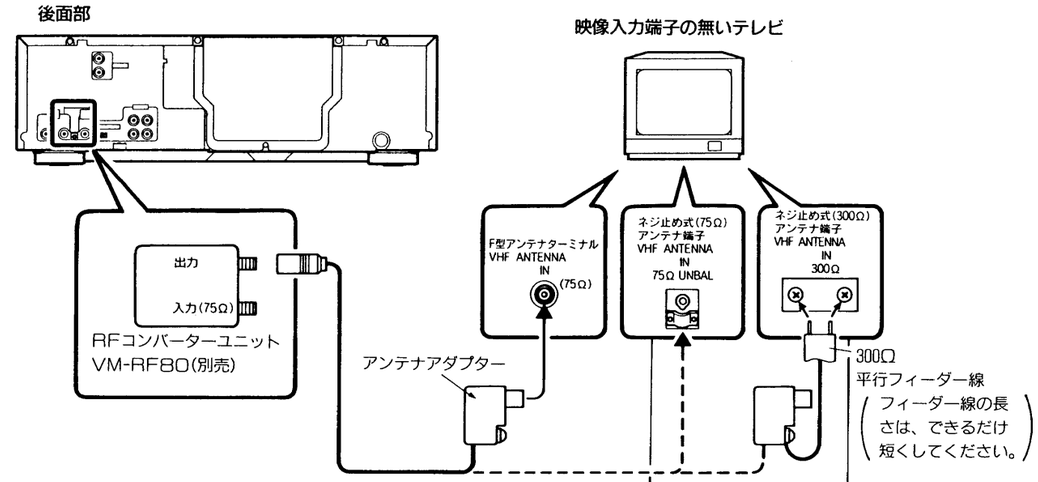
③300Ω端子に取り付ける。



ネジをゆるめてフィーダー線を巻き付け、ネジをしめる。

■ テレビとの接続(2)

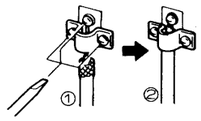
●VHFアンテナ入力端子の形状はテレビによってそれぞれ異なります。下図を参考に接続してください。
（詳細は、お手持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください。）



●プラグはしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、画面にノイズが出たり、雑音が発生する原因となります。

RFアンテナケーブルの接続

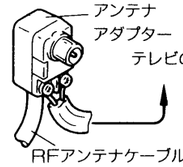
●アンテナアダプターを使用せずに、コードを直接テレビのアンテナ端子に下記の方法で接続します。



①テレビのVHF端子(75Ω)の3個のネジをゆるめ、ケーブル端子を差し込みます。
②3個のネジをしっかりとしめます。

RFアンテナケーブルの接続

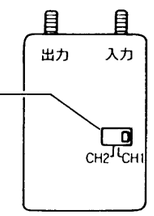
●アンテナアダプターの300Ω端子に、市販の平行フィーダー線を接続し、テレビのVHF300Ωアンテナ端子に接続します。



■ チャンネル切換スイッチを空きチャンネルに合わせる

RFコンバーターはディスクから再生した映像と音声をテレビ放送と同じ信号に変換してテレビの空きチャンネル（1 または 2）へ送りだします。
1チャンネルの放送がない場合はスイッチをCH1側に、2チャンネルの放送がない場合はスイッチをCH2側にします。
これがディスク再生用のチャンネルになります。

スイッチを空きチャンネル側に合わせる。
（例） 東京地域：CH2
大阪地域：CH1



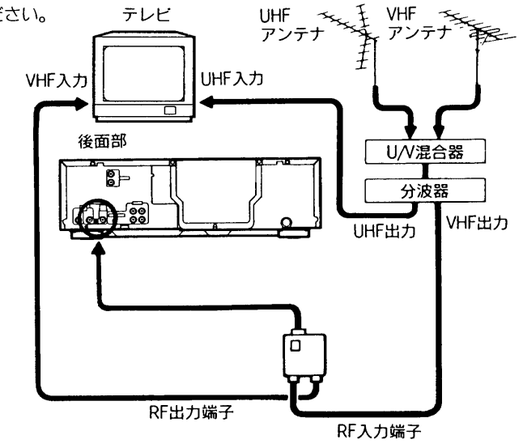
レーザーディスクプレーヤーのつなぎかた（つづき）

ご注意

〈一本のケーブルでVHFとUHFの両方の信号が送られている場合のご注意〉

U/V混合器を使ってVHFとUHF両方の信号が一本のケーブルで送られていて、分波器を使ってテレビにつながれている場合には、次のように接続してください。

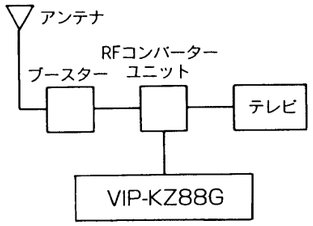
(1)分波器からのVHF出力をテレビのVHFアンテナ端子からはずします。
(2)はずしたVHF出力をRFコンバーターユニットの入力端子につなぎます。
(3)RFコンバーターユニットの出力端子とテレビのVHFアンテナ端子をつなぎます。
分波器からのUHF出力は、そのままテレビにつないでおいてください。



おや?

ブースター使用のおすすめ

電波の弱い地域では、RFコンバーターユニットをテレビにつなぐと、画面がチラつく場合があります。これはテレビのアンテナに入る電波がRFコンバーターユニットを通ってテレビに入るためです。このようなときは、市販のブースターをお使いください。



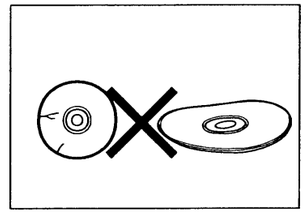
なお、電波状態は地域により異なるため、ブースターをお求めの際は販売店にご相談ください。

ご注意

- 本機の電源を入れたままテレビを見ていると、テレビ放送の電波状態によっては画面にしま状のノイズが発生する場合があります。このようなときは、本機の電源を切るか、アンテナケーブルを電源コードや本機から遠ざけて、ノイズのなくなる位置でご使用ください。
- アンテナケーブルには同軸のケーブルのご使用をおすすめします。300Ω平行フィーダーでのご使用は外部からのノイズの影響を受け易くなります。。

ディスクをセットする前に

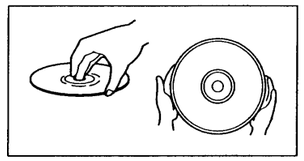
ひびやそりのあるディスクは使わない



安全のために！

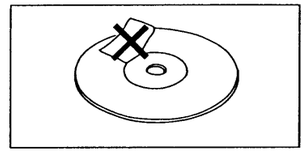
再生中、ディスクは高速回転します。
ひび割れ、変形、欠け、亀裂、接着剤で補修されたディスクは、危険なので絶対に使用しないでください。
また、レコードスプレー、静電気防止剤などは、ひび割れの原因となりますので使わないでください。

ディスクを持つときは



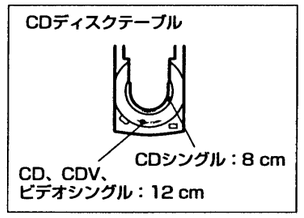
ディスクの表面に触らないように持つ。
ディスクが汚れたり、キズがついたりしますと、テレビ画面が乱れたり、進まなくなったり、飛ぶことがあります。

紙やシールなどを貼りつけない



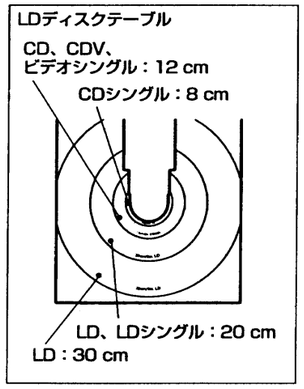
のりなどがはみ出した場合、ディスクが取りだせなくなるなどの故障の原因になります。シール等を貼ることはおやめください。特にレンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどのはみ出しを確認してからご使用ください。

ディスクをセットするときは



虹色に光っている面（信号面）を下にして置く。
8 cm CDシングルは、アダプターを使用せずにそのままセットしてください。

なるほど CD・CDVディスク専用トレイを使用してください。
CD専用の開／閉ボタンを押すとトレイは開きます。もう一度、押すと閉まります。



ディスクは、演奏したい曲名または題名の書いてある面を上にして置く。
（上にした面がA面、下がB面になります。）
20 cm LDシングルは、アダプターを使用せずにそのままセットしてください。

なるほど LDディスク専用トレイを使用してください。
LD専用の開／閉ボタンを押すとトレイは開きます。もう一度、押すと閉まります。

ご注意
- ディスクを2枚同時にセットすると、ディスクにキズがついたり、故障の原因になります。必ず1枚だけセットしてください。
- ディスクテーブルの溝からずれてディスクをセットすると正しく演奏できないばかりか、ディスクを傷つけたり故障の原因となります。

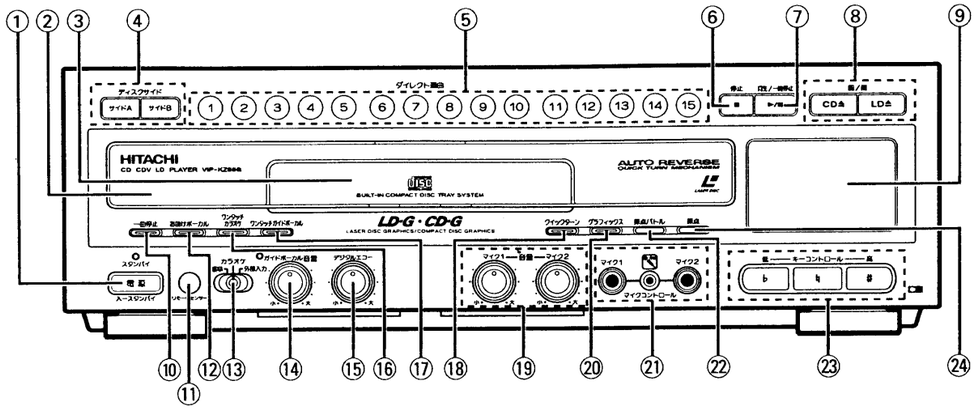
安全のために！

- ディスクテーブルが引き込まれるときに指をはさまないように注意してください。また、小さなお子さまがディスクテーブルのふたを開けて中に手をいれないように注意してください。けがをする場合があります。
- ディスク以外のものをディスクテーブルにのせないでください。

各部のなまえと働き

前面部

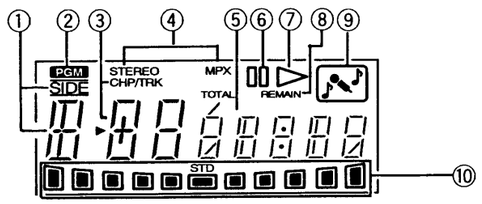
＊ P. は説明のあるページです。



①電源スイッチ [14]
②LDディスクテーブル [14]
③CDディスクテーブル [14]
④ディスクサイドA/Bボタン [15]
⑤ダイレクト選曲ボタン（1～15）[14]
⑥停止ボタン（■）[22]
⑦再生／一時停止ボタン（►/❚❚）[22]
⑧開／閉ボタン（CD ≜ LD ≜）[14]
⑨表示窓
⑩1曲停止ボタン [16]
⑪リモコンセンサー受光窓
⑫お助けボーカルボタン [17]
⑬標準／カラオケ/外部入力切り換えスイッチ
　標準　：カラオケ以外のディスクを楽しむときに使います。
　カラオケ：カラオケディスクを楽しむときに使います。

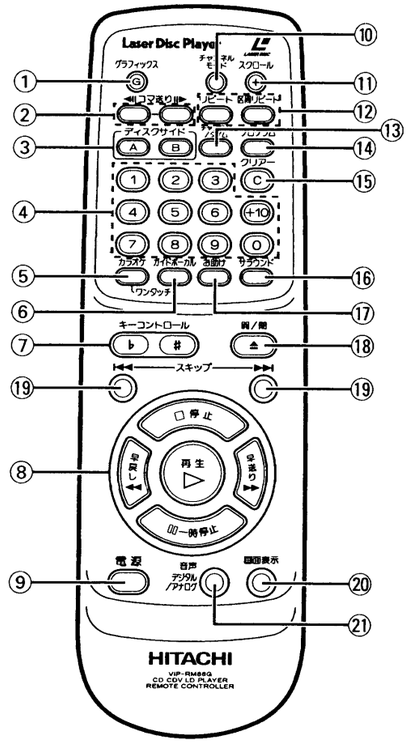
外部入力：後面の外部入力端子に接続した機器でカラオケを楽しむことができます。
⑭ガイドボーカル音量つまみ [17]
⑮デジタルエコーつまみ [16]
⑯ワンタッチカラオケボタン [17]
⑰ワンタッチガイドボーカルボタン [17]
⑱クイックターンボタン [23]
⑲マイク1・2音量つまみ [23]
⑳グラフィックスボタン [23]
㉑マイク1／マイクコントロール／マイク2端子 [14]
㉒採点バトルボタン [20]
㉓キーコントロールボタン [16]
㉔採点ボタン [19]

表示部



①LDのディスクサイドを表示します。
②プログラム再生のとき表示します。
③チャプターナンバーまたはトラックナンバーを表示します。
④カラオケの再生音声を表示します。
⑤演奏面の総演奏時間を表示します。
⑥一時停止の時に点灯します。
⑦再生中に点灯します。
⑧残り演奏時間を表示します。
⑨カラオケ機能が使える時に点灯します。
⑩キーの高低を表示します。

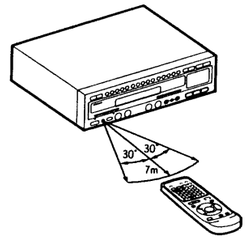
リモートコントロールユニット



①グラフィックスボタン [24]
②コマ送りボタン（◄❚❚ ❚❚►）[27]
③ディスクサイドA/Bボタン [15]
④数字ボタン [14]
⑤ワンタッチカラオケボタン [17]
⑥ワンタッチガイドボーカルボタン [17]
⑦キーコントロールボタン [16]
⑧ ■ ：停止ボタン [22]
　► ：再生ボタン [22]
　❚❚ ：一時停止ボタン [22]
　►► ：早送りボタン [26]
　◄◄ ：早戻しボタン [26]
⑨電源ボタン [14]
⑩チャンネルモードボタン [24]
⑪スクロールボタン [24]
⑫リピートボタン [30]
　区間リピートボタン [30]
⑬チャプター／タイムボタン [27]
⑭プログラムボタン [28]
⑮クリアーボタン [20]
⑯サラウンドボタン [16]
⑰お助けボーカルボタン [17]
⑱開／閉ボタン（≜）[15]
⑲スキップボタン（◄◄ ►►）[26]
⑳画面表示ボタン [31]
㉑音声デジタル／アナログボタン [23]

リモコンの操作

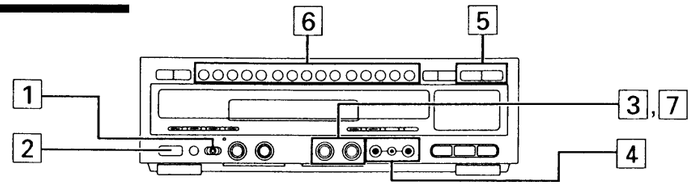
リモコンはプレーヤー前面部のリモコン受光窓に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は7 m以内、またリモコン受光窓を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。



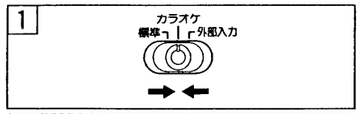
- リモコン受光窓に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。

カラオケを楽しむとき

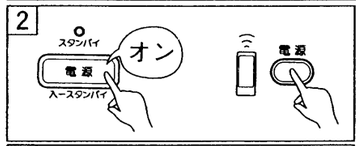
操作をはじめるには



マークはリモコンの操作です。

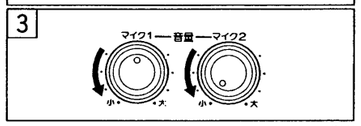


標準／カラオケ／外部入力切り換えスイッチを“カラオケ”に合わせます。



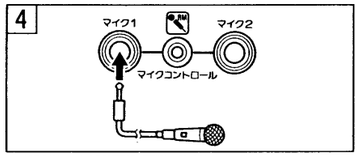
本機とテレビの電源を入れます。
テレビは接続されているファンクション（入力）に合わせてください。

ご注意 マイク音量つまみを“小”にしないでマイクをつなぐと、テレビやオーディオのスピーカーに不具合が生じる場合があります。

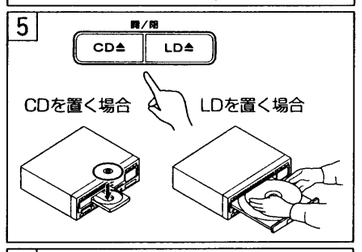


マイク1、2音量つまみを“小”にします。
お手持ちのアンプやテレビの音量も“小”または“MIN”にします。

なるほど マイクは、カラオケ用のものをお使いください。カラオケ用ではないマイクでは、音量が足りなかったり、ハウリング(15ページ参照)が起こるなどの不具合が生じる場合があります。



マイクをつなぎマイクのスイッチを入れます。

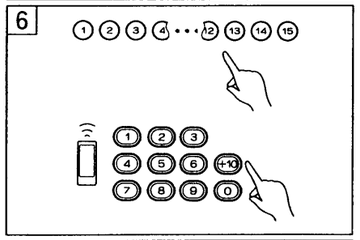


開／閉ボタンを押してディスクテーブルを出し、ディスクを置きます。

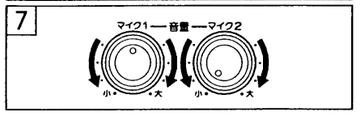
CDディスクの場合 — CD≜

LDディスクの場合 — LD≜

なるほど 選曲した曲の再生が終了すると、一時停止になります。再び歌うときは、もう一度選曲してください。連続して歌いたいときは一曲停止ボタン（16ページ参照）をオフにしてください。



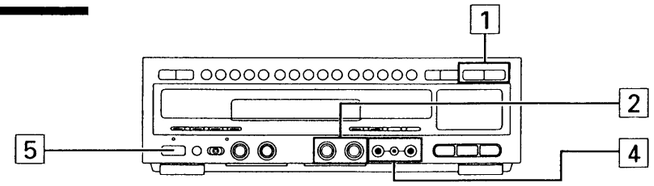
ダイレクト選曲ボタンで曲番号を選びます。
再生がはじまります。
リモコンで選ぶときは、10の位を、+10、1の位を0～9で指定します。
例）3曲目 3
10曲目 ....+10、0
22曲目 ....+10、+10、2



お手持ちのアンプの音量、マイク音量を調節します。

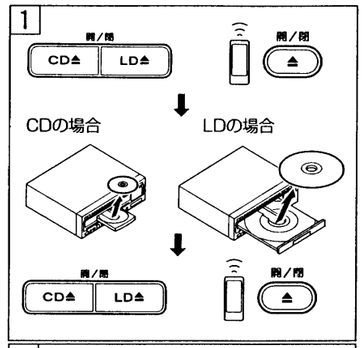
さあ歌いましょう♪

操作が終了したら



なるほど リモコンの開／閉ボタンを押した場合は、中に入っているディスクの種類に応じて出てくるディスクテーブルが異なります。

ご注意 ディスクテーブルが出た状態で、ディスクテーブルに強い力（特に上下方向）が加わると故障の原因となります。
必ずディスクテーブルを閉じてください。



開／閉ボタンを押します。

ディスクテーブルが出ます。

⬇

ディスクを取り出します。

⬇

開／閉ボタンを押します。

ディスクテーブルが閉じます。

お手持ちのアンプの音量とマイク音量を下げます。

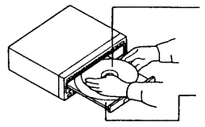
マイクのスイッチを切ります。

マイクをはずします。

電源を切ります。

なるほど 電源がオフの状態から前面パネルの開／閉ボタンを押すだけで自動的に電源が入り、ディスクテーブルが出てきます。

なるほど A面・B面を指定するには
両面再生ディスクの演奏したい曲名または題名の書いてある面を指定することができます。A面だけを再生したいときはディスクサイドAボタン、B面だけを再生したいときはディスクサイドBボタンを押してください。

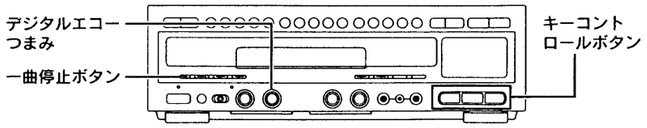


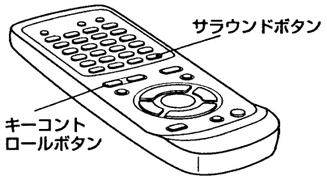
ディスクをのせたとき上にした面がディスクサイドAで再生します。

下にした面がディスクサイドBで再生します。

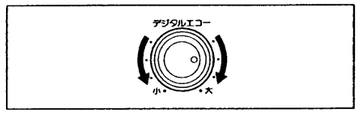
ご注意
- 「キーン」「ピー」と大きな音が聞こえたら（ハウリング）：
①マイクをスピーカーから離してください。
②マイク音量つまみを左側に回わしてください。（音量を小さくする）
③お手持ちのアンプの音量つまみで音量を小さくする。
- 長時間一曲停止状態のままにしておくとモーター寿命を縮める原因となりますので、LDでは約20分間一曲停止状態が続くと自動的に停止します。（ポーズタイマー）

好みの音に調整するには



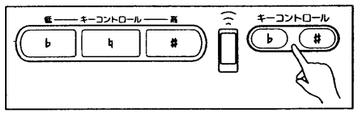


エコーを調整する



デジタルエコーつまみで調整します。

演奏の音程を変える



キーコントロールボタンを押します。

♭ ：音程が低くなります
♮ ：標準
♯ ：音程が高くなります

歌う場所の雰囲気づくり

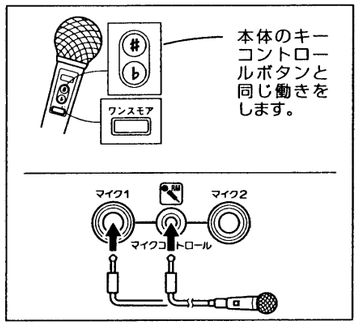
なるほど 標準／カラオケ／外部入力切換スイッチが“カラオケ”以外でもサラウンドになります。

サラウンドボタンを押します。

シアター：映画館にいるような雰囲気
カラオケ： 屋内ステージで歌っているような雰囲気
ミュージック：ホールにいるような雰囲気
オフ：サラウンド機能は働きません。

マイクでできる操作

- 別売のマイクロホンUDM-KY30で操作できます。



キーコントロールとワンスモアの操作ができます。

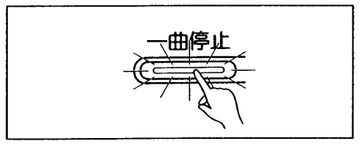
キーコントロールの操作はマイクの取扱説明書をお読みください。

ワンスモア： 再生中にこのボタンを押すと少し前の演奏と映像に戻ります。

なるほど カラオケのでだしで失敗したときや同じ部分を繰り返し歌うときなどに使います。

カラオケの練習に便利な機能

一曲停止ボタン

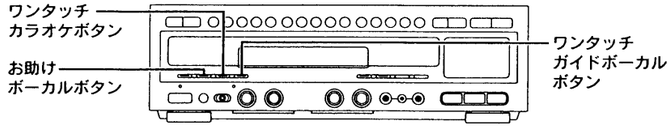


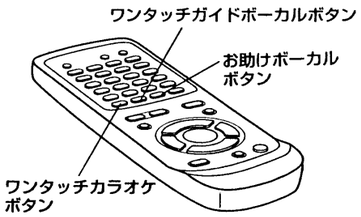
一曲停止ボタンを押す

インジケーターが点灯（オン）している時は一曲停止モードです。
インジケーターが消灯（オフ）している時は連続再生モードです。

なるほど
- 標準／カラオケ／外部入力切り換えスイッチをカラオケに切り換えると、最初は一曲停止モードに設定されます。その後はボタンを押すことによって連続再生に切り換えることができます。
- 標準／カラオケ／外部入力切り換えスイッチが、標準／外部入力の場合は、常に連続再生モードです。

カラオケの練習に便利な機能 - LDの場合

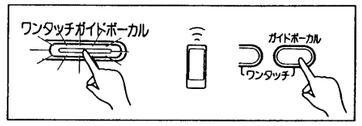




ワンタッチガイドボーカル

お手本の歌手の声が聞けるからカラオケの練習に最適です。

なるほど ガイドボーカル音量つまみのインジケーターが点灯中はこのつまみを回すことによってガイドボーカルの音量が調節できます。



カラオケディスクで練習用の歌手の声（ガイドボーカル）が聞きたいときに**ワンタッチガイドボーカルボタンを押します。**

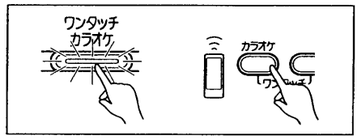
おや? ワンタッチガイドボーカルはガイドボーカルが収録されているディスク（音声多重ディスク）以外のディスクには効果がありませんのでボタンを押さずにご使用ください。

おや?
- ガイドボーカルが右チャンネルから聞こえる。
- ガイドボーカルインジケーターが点灯しているのにガイドボーカルが調節できない。

このような場合はワンタッチガイドボーカルボタンをもう一度押してください。ガイドボーカル音量つまみを使用することができます。

ワンタッチカラオケ

ディスク歌手の声が消せるから普通のディスクでカラオケができます。



普通の音楽ディスクでカラオケをするときに**ワンタッチカラオケボタンを押します。**
歌手の声が小さくなります。

おや? ディスクによってあまり効果がない場合があります。

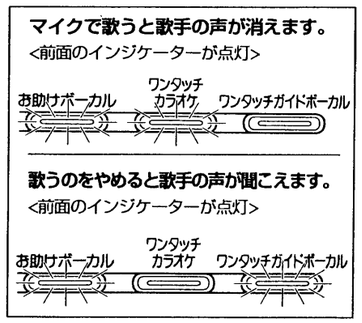
なるほど カラオケディスクで右チャンネルからガイドボーカルが聞こえるときは、ワンタッチカラオケボタンを2回押してください。ガイドボーカルを消すことができます。

お助けボーカル

自分の声と歌手の声が入れ替わるから覚えたての歌でも歌えます。
お助けボーカルはマイクで歌うとそれまで聞こえていた歌手の声が消える（小さくなる）機能です。
覚えたての歌の練習をするときやデュエットの歌を一人で練習するときに最適です。

おや?
- 歌手の声が右から聞こえる。
- 歌っても歌手の声が全く消えない。

このような場合には、お助けボーカルボタンをもう一度押してください。



お助けボーカルボタンを押します。歌手の声が聞こえます。

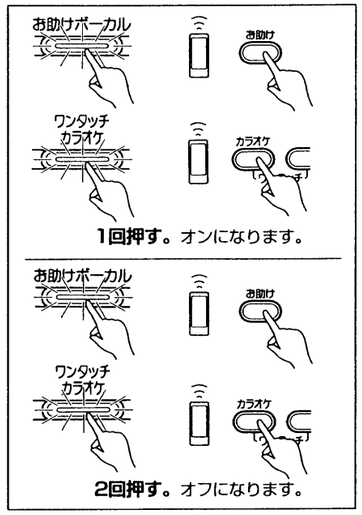
なるほど ガイドボーカル音量インジケーターが点灯中はガイドボーカル音量つまみが使用できます。

おや? ディスクによっては歌っても歌手の声があまり小さくならない場合があります。

ご注意
- クイックターン機能（23ページ参照）がオンだとワンタッチガイドボーカル、ワンタッチカラオケ、お助けボーカル機能がうまく働かなくなる場合があります。カラオケを楽しむ場合は必ず停止ボタンでディスクを停止させてからクイックターン機能をオフにしてください。
- ワンタッチガイドボーカル、ワンタッチカラオケ、お助けボーカル機能では、ディスクによってボタンを2回押さないと、オフにならない場合があります。

CD/CD-Gディスクや外部入力でカラオケを楽しむとき

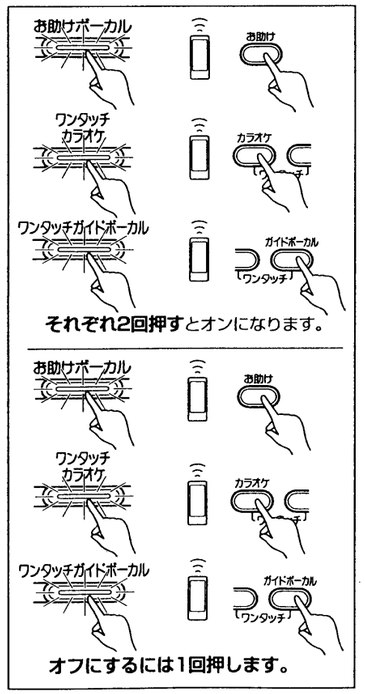
ステレオのCD/CD-Gまたは外部音声を使用する場合



LDの場合と同様の操作を行ってください。（17ページ参照）
ただし、オフにするときはワンタッチカラオケボタン、お助けボーカルボタンを2回続けて押してください。

おや? ワンタッチガイドボーカルは効果がありませんのでボタンは押さないでください。

カラオケ用の音声多重CD/CD-G、または外部音声を使用する場合



何も操作しないとガイドボーカルが右チャンネルから聞こえてきます。

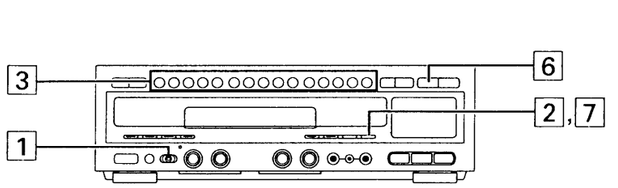
カラオケを楽しむ場合は必ず次の操作を行ってください。

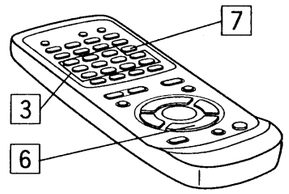
- **ガイドボーカルを聞きたいときは、ワンタッチガイドボーカルボタンを2回押す。**
- **ガイドボーカルを消したいときは、ワンタッチカラオケボタンを2回押す。**
- **お助けボーカルを消したい時には、お助けボーカルボタンを2回押す。**

なるほど ガイドボーカル音量インジケーターが点灯しているときは、ガイドボーカルの音量はガイドボーカル音量つまみで調節できます。

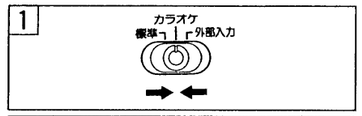
なるほど ワンタッチガイドボーカル、ワンタッチカラオケ、お助けボーカルともボタンを
1回押すと ステレオ用
2回押すと 音声多重用
3回押すと オフの設定になります。

自分の歌を採点するには（採点機能）





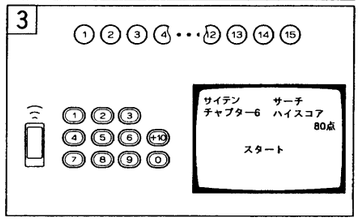
標準／カラオケ／外部入力切り換えスイッチを“カラオケ”にします。



採点ボタンを押します。

前回までの最高点が表示されます。
（電源を切ると0点になります。）

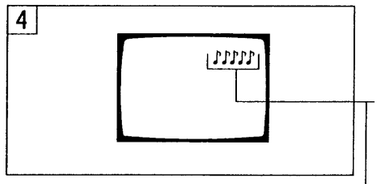
ダイレクト選曲ボタンで曲番号を選びます。（歌う曲を選ぶ）



再生がはじまります。

さあ歌いましょう。（歌いたい曲が再生されています。）

おや? 採点機能のときは、自動的に一曲停止モードになります。一曲停止ボタン（16ページ参照）はオフできません。



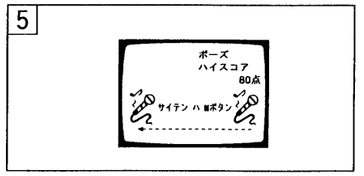
テレビ画面に再生画とともに右上に音符が5個でてきます。

音程が歌唱と合っているとき
♪♪♪♪♪←→♪♪♪♪♪
交互に変わる

音程が合っていないとき
♪♪♪♪♪
バラバラに変わる

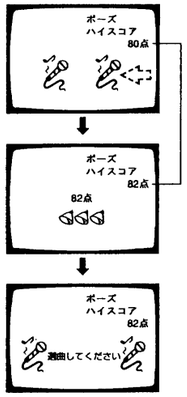
歌い終わると一時停止（ポーズ）状態になります。

おや? 曲が終わらないうちに一時停止（ポーズ）させるとこの表示（サイテン ハ▮▮ボタン）は出てこないで、手順6の点数表示になります。



なるほど どのように採点するのか？
マイク入力から入るあなたの声とディスクに記録されている歌唱（ボーカル）とを比較して採点します。
ディスクにボーカルが入っていないものは正確な採点ができません。

6

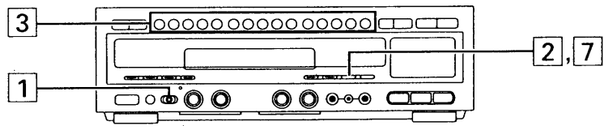


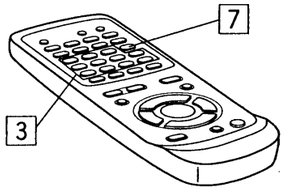
本体の再生／一時停止ボタン（►／II）またはリモコンの一時停止ボタン（II）を押します。
点数が表示されると同時に約3秒間点数に応じた鐘の表示がされ、鐘の音が鳴り響きます。
表示される鐘の数：
0～ 59点 ：0個
60～ 69点 ：1個
70～ 79点 ：2個
80～100点 ：3個
ただいまの点数が最高得点（ハイスコア）を更新したとき、鐘の表示がでた後、ハイスコアが書き変わります。それとともに拍手の音が鳴ります。
数秒後に2の状態に戻ります。
再び手順3～6を行なうことができます。

7 **通常のカラオケモードにするには**

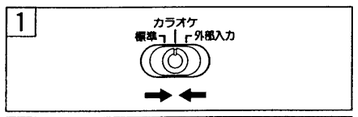
- 本体の採点ボタンをもう1度押す。
- リモコンのクリアーボタンを押す。

2人の歌を同時に採点するには（採点バトル）





1

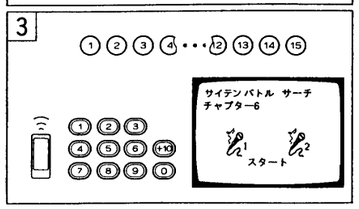


標準／カラオケ／外部入力切り換スイッチを“カラオケ”にします。
マイクをマイク1とマイク2につなぎスイッチを入れます

2

採点バトルボタンを押します。

3

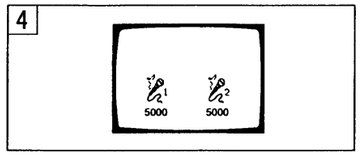


ダイレクト選曲ボタンを押して曲番号を選びます。（歌う曲を選ぶ）
再生がはじまります。

おや? 採点バトルのときは、自動的に一曲停止モードになります。一曲停止ボタンはオフできません。

さあ2人で歌いましょう（採点バトルの開始です。）

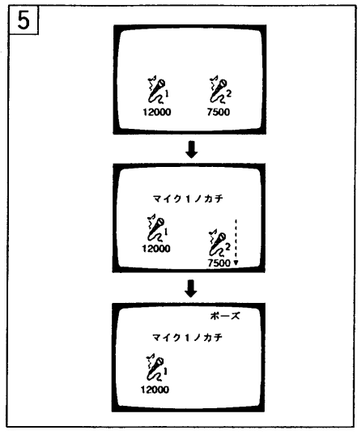
4



持ち点は5,000点からスタートし、100点ごとに加算または減算されます。

歌い終わると一曲停止になります。（一曲終了）

5

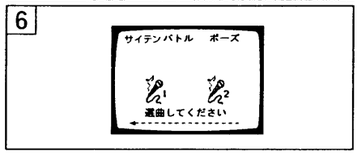


マイク1・マイク2の得点が表示されます。

勝利者が点滅表示され、負けた方が画面上から下へ消えてしまいます。

同点の時はマイク1とマイク2の両方が点滅表示します。

6



数秒後に2の状態に戻ります。
再び手順3～5を行なうことができます。

7 **通常のカラオケモードにするには**

- 本体の 採点バトルボタンをもう1度押す。
- リモコンのクリアーボタンを押す。

おや?

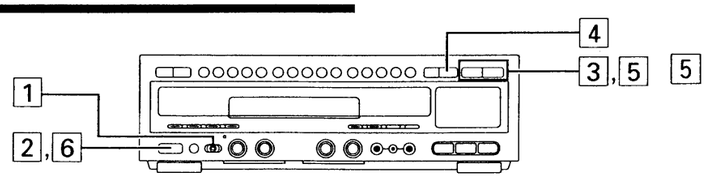
- 採点動作中に別の曲を選曲すると、いままでの採点はリセットされます。
- 採点動作中は早送り、早戻し、ワンスモア機能が使用できます。
- 選曲待ちや点数を表示するときは、再生、スキップ、早送り・早戻しは働きません。
- 採点機能、採点バトル時、キーコントロールの機能が使用できます。
- 採点機能、採点バトルの間、働かない機能は次の通りです。
  繰り返し（リピート）、サラウンド、プログラム、クリアスキャン、画面への時間表示、チャンネルモード、お助けボーカル、ワンタッチカラオケです。
- グラフィックス対応ディスクで採点動作中、ガイドボーカルを消すときは、ワンタッチガイドボーカルボタンを2回押してガイドボーカル音量つまみを“小”側へ回します。

ご注意

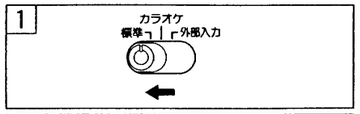
- 標準／カラオケ／外部入力切り換えスイッチがカラオケの時のみ働きます。
- ディスクの種類または曲によってカラオケディスクでも歌唱の音程検出が正確にできないものがあり、高い点が出にくい場合がありますが故障ではありません。
- 歌のないところ（前奏、間奏など）で歌うと採点の対象となり正確な点数がでません。
  逆に歌のあるところで歌わなくても減点の対象とはなりません。
- グラフィックス対応ディスクで採点バトルをするとディスクによっては、グラフィックス映像と画面表示が重なる場合があります。

カラオケ以外の操作

映画・音楽ディスクを再生するには

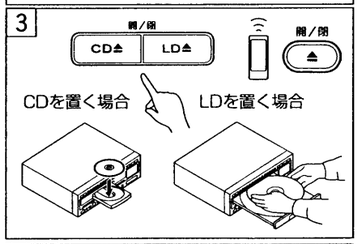


おや? 標準のときはカラオケの機能は使えません。



標準／カラオケ／外部入力切り換えスイッチを“標準”に合わせます。

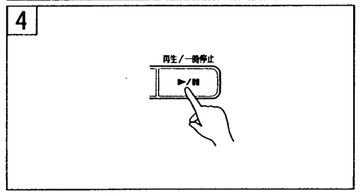
本機とテレビの電源を入れます。
テレビは接続されているファンクション（入力）に合わせてください。



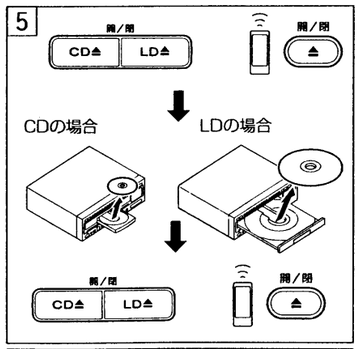
開／閉ボタンを押してディスクテーブルに、ディスクを置きます。

CDディスクの場合— CD≜

LDディスクの場合— LD≜



再生／一時停止ボタンを押します。
- 再生を一時止めるには…
  再生／一時停止ボタン（▶/II）を押します。
  もう1度押すと、止めたところから再生が始まります。
- 再生を中止するには…
  停止ボタン（■）を押します。



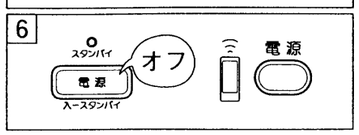
開／閉ボタンを押します。

ディスクテーブルが出ます。

ディスクを取り出します。

開／閉ボタンを押します。

ディスクテーブルが閉じます。

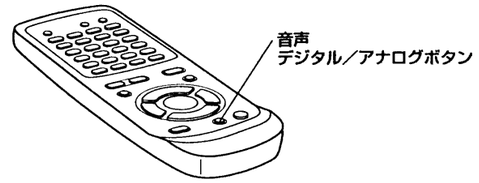


電源を切ります。

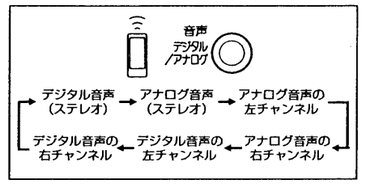
再生が終ったら

なるほど LDを再生中に電源スイッチを押してオフにすると、オフしたところの場面より少し手前をメモリーします。もう1度電源をオンにして再生ボタンを押すと、メモリーした場面から再生をはじめます。（ラストメモリー機能）
- 「ラストメモリー」と表示します。
- 電源コードを抜くとこの機能は働きません。
- ディスクはディスクテーブルに入れたままにしておきます。

音声を切り換えるには

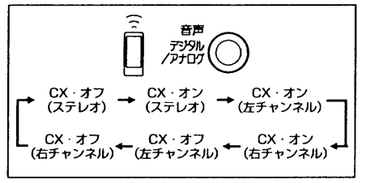


デジタル音声入りLDの場合



アナログ音声のLDの場合

- CX（⊡X）自動入（切）切り換えのコードが入っているディスク
- CX（⊡X）自動切り換えのコードが入っていないディスク



CDおよびCDVの場合

おや? 音声　デジタル／アナログボタンは標準／カラオケ／外部入力切換スイッチが標準以外では使えません。

音声　デジタル／アナログボタンを押すごとに、音声が切り換わります。

例）
- デジタル音声付きディスクのアナログ音声を聞く。
- ステレオディスクの片チャンネルだけを聞く。
- 音声多重ディスクの音声を選ぶ。

なるほど **⊡Xマーク付LDディスクについて**
- ⊡Xマークの付いたLDディスクでは、CXノイズリダクションシステムにより、ダイナミックレンジが広く、雑音の少ないアナログ音声が得られます。
- ⊡Xマークが付いているディスクの中には、CXシステムを自動的に入・切するコードが記録されていないものがあります。その場合は、リモコンの音声モニターデジタル／アナログボタンを押してCXをオンにしてください。
- ⊡XはCBSの商標です。本システムのプレーヤーはCXの伸張仕様に合うように作られています。
- AC-3 対応ディスクを再生して、アナログ音声に切り換えると「1/L ONLY」と左下に表示し、音声は左チャンネルモノラルに固定されます。（35ページ参照）

映画ディスクを楽しむ場合

再生開始時間・反転時間を短くします。ークイックターン（LDのみ）

インジケーターが点灯しているときはオンの状態を表わしています。

ご注意
- CDを入れると、自動的にクイックターンオフとなります。またCDが入っているときは、クイックターンをオンすることはできません。
- 1度電源をオフしたり、標準／カラオケ／外部入力切換スイッチを切り換えるとクイックターンのオン／オフは最初の設定になります。

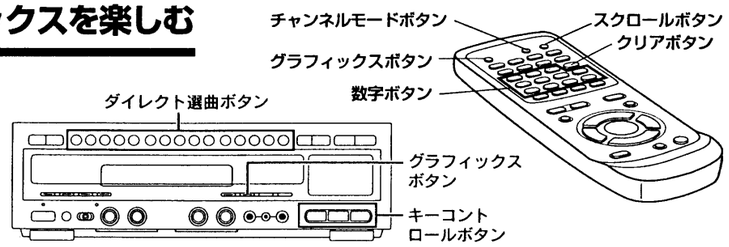
標準/カラオケ/外部入力切換スイッチを切り換えた時の最初の設定は
標準：オン(インジケーターが点灯)
カラオケ：オフ(インジケーターが消灯)
外部入力：オフ(インジケーターが消灯)

なるほど
- オン／オフするときはクイックターンボタンを押してください。
- クイックターンオンのときはディスクに記録されているTOCを読み込まないため、再生開始時間、反転時間が短くなります。
  このためTOC入りLDであっても、トータル時間、リメイン時間表示、標準（CAV）ディスクでの経過時間表示ができなくなります。

LD・CDグラフィックスを楽しむ

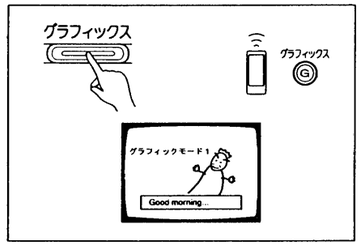
LD·G マークのついたLDのときに楽しむことができます。通常の映像や音声とは別に記録されている、映画の台詞や歌の歌詞などを画面表示します。

GRAPHICS マークのついたCD、CDVでも操作できます。



グラフィックスを表示させるには

なるほど **モード1、2について**
よく使用するチャンネル（00、01、02チャンネル）がすぐに選べるようにメモリーされています。その他のチャンネルは、25ページの手順で選んでください。



- グラフィックスをオフにするには、グラフィックスボタンを押してインジケーターを消灯させます。
- CD-Gディスクでは、オフの状態でも自動的にオンになります。

グラフィックス対応ディスクを再生中にグラフィックスボタンを押します。
モード（1または2）を選びます。

→ 切 → モード1 → モード2 →
（オフ）（00、01チャンネル）（02チャンネル）

CD、CDVの場合は次のように切り換わります。

→ 切 → 入 →
（オフ） （オン）

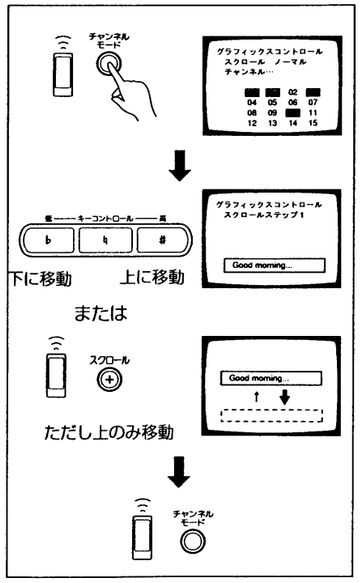
グラフィックスの表示位置をかえるには

映画の台詞などの表示位置を好みによって変えることができます。

おや? リモコンのキーコントロールボタンでは操作できません。

おや? LD／CDグラフィックスディスク再生時に、次の操作をすると、グラフィックス映像の“文字が欠ける”、“画面と文字、画面と画面、文字と文字が重なる”、“画面や文字の色が変わる”ことがありますが故障ではありません。しばらくすると、正しいグラフィックス映像になります。

- 早送り、早戻し
- ●一時停止 ●サーチ



再生中にリモコンのチャンネルモードボタンを押します。

⬇

画面表示中に本体のキーコントロールボタンを押します。
表示が上下に移動します。
♯ ：上に移動
♭ ：下に移動
ノーマル（標準）から17まで、18ステップ移動できます。

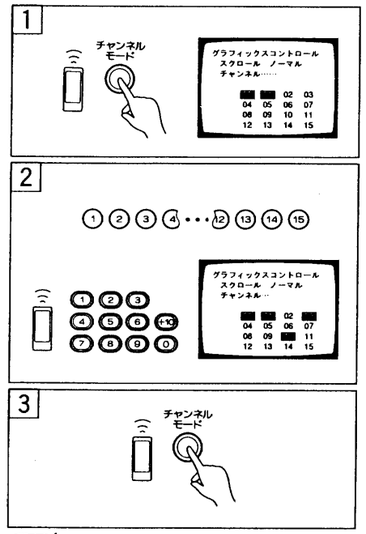
⬇

位置を決めたらチャンネルモードボタンを押します。

おや? グラフィックスが記録されていないディスクを再生すると、まれに誤ったグラフィックス映像を出すことがありますが故障ではありません。グラフィックスが記録されていないディスクを再生するときは、必ずグラフィックスをオフ（切）にしてください。

グラフィックスのチャンネルを選ぶには

なるほど **グラフィックスチャンネルについて：**
LD／CDグラフィックスには00～15までのチャンネルがあり、これをグラフィックスチャンネルと呼んでいます。このグラフィックスチャンネルで画面に映し出す情報（文字や絵）を選ぶことができます。



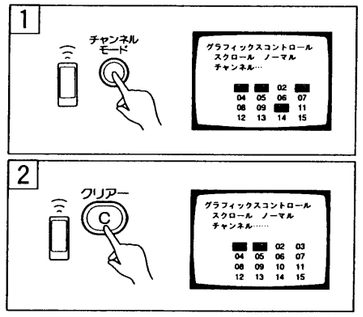
グラフィックスがオンの時に“チャンネルモード”を押す。
グラフィックスコントロール画面が表示されます。

ダイレクト選曲ボタンまたは数字ボタンでチャンネル（00～15）を選びます。
リモコンで選ぶときは、10の位を[+10]、1の位を[0]～[9]で指定します。
例）3チャンネル [3]
10チャンネル [+10]、[0]
15チャンネル [+10]、[5]

チャンネルモードボタンを押して、グラフィックスコントロール画面を消す。

なるほど
- 選んだチャンネルをオフにするには、グラフィックスコントロール画面を表示中にもう一度そのチャンネル番号を押します。
- 複数のグラフィックスは重なって表示されます。
- 本機は電源を入れたときにいつもチャンネル00と01を選んでいる状態になっています。ディスクのジャケットなどにチャンネルの指示が書いてある場合とディスク映像から指示がある場合以外は、変更しなくてもグラフィックスを出すことができます。

チャンネルと表示位置を元に戻すには



チャンネルモードボタンを押して、グラフィックスコントロール画面を表示させる。

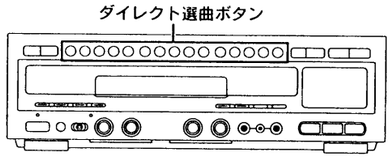
クリアボタンを押します。

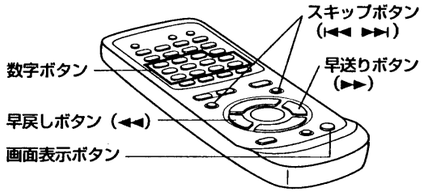
- 表示位置は戻さずにチャンネルだけを元に戻すには、上記の手順[2]でグラフィックスボタンを押します。

なるほど **グラフィックスコントロール画面とは？**
グラフィックスチャンネルと、スクロールステップを表示します。
グラフィックスボタンのインジケーターが点灯しているときに、“チャンネルモード”で、オン／オフできます。
グラフィックスチャンネルを選ぶときはこの画面で行ないます。（グラフィックスコントロール画面表示中は、グラフィックスをオフにすることはできません。）

おや? **グラフィックス映像が出ないとき**
LD·G または GRAPHICS マークのついたディスクで、グラフィックス映像が出ないときは、グラフィックスチャンネルやスクロールステップの設定が合っていないことが考えられます。このような場合、電源を一度切り再び入れるか、グラフィックスコントロール画面でリモコンの“クリアーボタン”を押してください。グラフィックスチャンネルとスクロールステップが元の状態に戻ります。

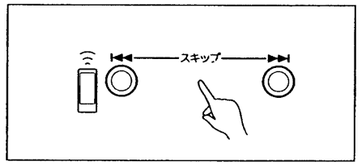
希望の場面や曲から演奏するとき





曲の頭出しをするには

ディスク再生時に操作できます。



⏭…押すたびに次のチャプター（場面）やトラック（曲）へ進みます。

⏮…押すたびに前のチャプター（場面）やトラック（曲）へ戻ります。

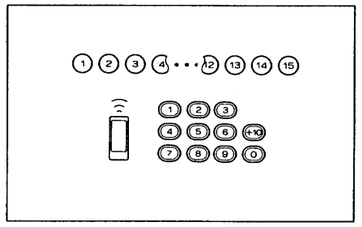
例）3曲目を再生中に

⏮を押すと3曲目の始めに戻り再生します。

⏭を押すと4曲目の始めにスキップし再生します。

希望の場面や曲を指定するとき

ご注意 ディスクによってはチャプターナンバーがないディスクがあります。その場合ダイレクトサーチ、ノーマルサーチはできません。



- サーチを途中で止めるには：
  サーチ中にクリアボタンを押します。

見たいチャプター（場面）や、聞きたいトラック（曲）の番号を選ぶ。

<ダイレクトサーチ>

リモコンで選ぶときは、10の位を+10、1の位を0～9で指定します。

例）3曲目　3

10曲目　+10、0

22曲目　+10、+10、2

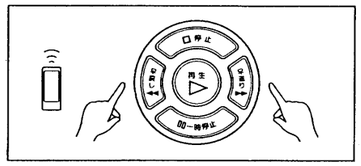
<ノーマルサーチ>

- 画面に“チャプター”の表示を出します。
- ＋10ボタンは使えません。

例）17のとき　チャプター/タイム　チャプター/タイム　1、7　再生

早送り、早戻しをするには

ご注意 CDV（ビデオパート）の再生中は高速スキャンになりません。

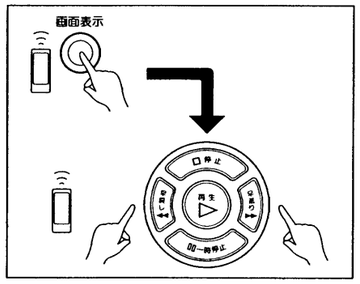


再生中に早送り・早戻しボタンを押すとゆっくりスキャン（早送り、早戻し）し、さらに押し続けると、高速でスキャンします。

クリアスキャンするには

おや? LDのCLVディスクとCDVのビデオパートでも画面の乱れない早送りができます。ただし、画像が一瞬途切れますが、故障ではありません。

ご注意
- 標準ディスクCAVでは、スキャン中画面にノイズが入ることがありますが、故障ではありません。
- 長時間ディスクCLVでは、ディスクの内周と外周ではスキャン速度が異なります。
- テレビによっては、クリアスキャン中に画面表示が揺れる場合がありますが故障ではありません。

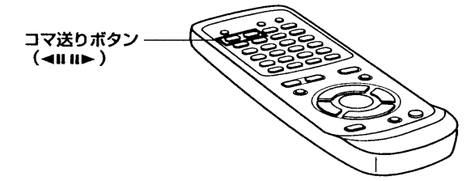


画面表示ボタンを押します。
画面表示が出ているときに、早送り・早戻しボタンを押します。

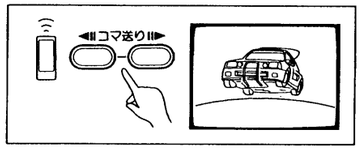
押している間だけ、画面の乱れないクリアスキャンになり、早送り・早戻しの画面が見られます。

- ディスクの始めまでスキャンすると：
  ふつうの再生が始まります。
- ディスクの終わりまでスキャンすると：
  LDではディスクの終わりで一時停止になります。
  CDVのビデオパートの終わりまでスキャンすると、オーディオパートをサーチします。
- 早送り、早戻し中の音声は：
  聞こえません。ただし、デジタル音声を再生しているときはクリアスキャンにすると小さな音がでます。CD、CDVオーディオパートでも小さな音がでます。

静止画／コマ送り（標準ディスクCAVのみ）



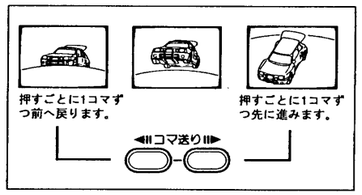
画像を止めて見るには —静止画



どちらかのコマ送りボタンを押します。
静止画になります。

なるほど 一時停止ボタン（II）でも静止画になります。

画像を1コマずつ送ってみるには —コマ送り



静止画の状態からコマ送りボタンを押します。

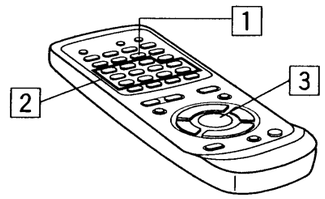
押し続けると連続してコマ送りができます。

- ふつうの再生に戻すときは再生ボタン（▶）を押してください。

おや? **自動的に静止画になってしまった：**
あるディスクの中には、ピクチャーストップコードという特別な信号を記録したものがあります。ディスクが入っているとき、前面パネルの再生ボタン▶を2秒以上押すと、ピクチャーストップキャンセル機能が働き、ピクチャーストップコードのある画面にきても静止せず、再生をつづけます。この時、画面にPSCオンと数秒間表示します。もう一度再生ボタン▶を2秒以上押すと、画面にPSCオフと数秒間表示します。　もとの状態に戻ります。

おや?
- 静止画／コマ送り中の音声は聞こえません。
- 長時間ディスク（CLV）ではコマ送り、静止画はできません。再生中にコマ送りボタンを押すと画面に“CLV”の注意表示が数秒間でます。

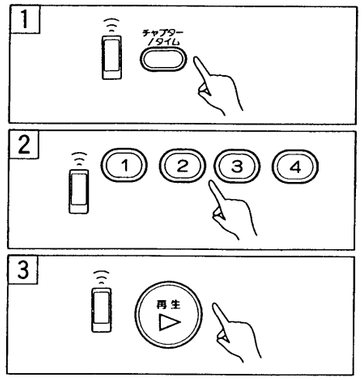
見たい場面を探すには



フレームナンバーを指定して見たい場面を探す —標準ディスク（CAV）

例）フレームナンバー（35ページ参照）
1234の画像を探す

おや? チャプター／タイムボタンを使ったときは+10ボタンは使えません。



再生中にチャプター／タイムボタンを押します。

数字ボタンの1、2、3、4を押します。

再生ボタンを押します。

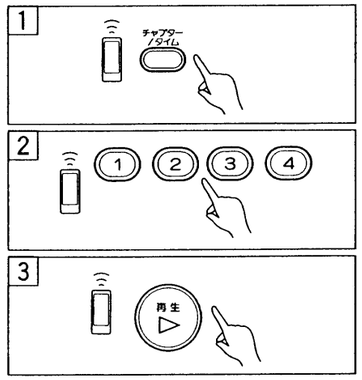
指定したフレームを探し出し静止画になります。

- もう1度再生ボタンを押すとふつうの再生になります。

タイムナンバーを指定して見たい場面を探す —長時間ディスク（CLV）

例）タイムナンバー（35ページ参照）
12分34秒の画像を探す

ご注意
- 秒の記録されていないディスクでは分（2ケタ）で指定してください。
- ディスクに記録されている以上のタイムナンバーまたはフレームナンバーをサーチすると、ディスクの終わりで一時停止になります。

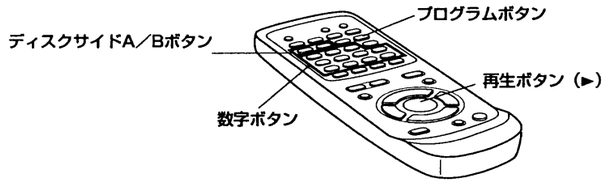


再生中にチャプター／タイムボタンを押します。

数字ボタンの1、2、3、4を押します。

再生ボタンを押します。
指定した時間から再生が始まります。

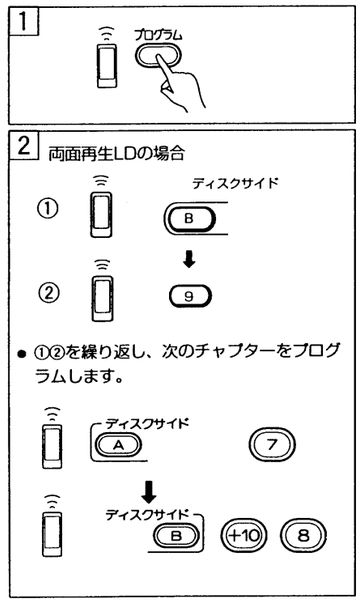
プログラム操作



見たい場面／聞きたい曲を希望の順番にならびかえて再生するには

例）B面チャプター9、A面チャプター7、B面チャプター18の順でプログラムする

- 再生したいチャプター（LD）やトラック（CDV／CD）を好きな順序で再生できます。
- 最高24のチャプターやトラックがプログラムできます。
- テレビ画面や表示窓を見ながら行なうとプログラムしやすくなります。



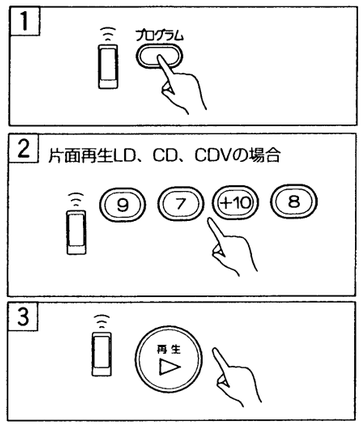
プログラムボタンを押します。

① A面またはB面を選びます。
② 数字ボタンでチャプターナンバーを指定します。

10の位は[+10]、1の位は[1]～[9]で指定します。
例）3曲目　[3]
10曲目　[+10]、[0]
22曲目　[+10]、[+10]、[2]

なるほど 数字ボタンを押し間違えたときはクリアーボタンを押してから正しい数字ボタンを押してください。

例）CDのトラック9、7、18を順にプログラムする。



プログラムボタンを押します。

数字ボタンの9、7、+10、8を押します。

再生ボタンを押します。
プログラムされた最初のトラック／チャプターを探し、再生を始めます。

おや? プログラム再生しても標準／カラオケ／外部入力切換スイッチがカラオケのときは一曲停止となります。
連続再生するにはスイッチを標準に切換えるか一曲停止をオフ（16ページ）にします。

なるほど ポーズをプログラムしておくと、録音するときに大変便利です。
- テープの両面に録音するとき、片面に録音する最後のトラック／チャプターのあとにポーズをプログラムしておくと、一時停止のときにテープの録音面を替えられ、録音ミスを防げます。
- ポーズ状態のとき、ナレーションを吹き込んだり、無録音部分が作れます。ポーズ状態のとき、一時停止ボタンをもう一度押すと、プログラム再生が引続き始まります。録音を再開してください。
- 最後のステップには、ポーズをプログラムすることはできません。
プログラムの1番目または2回続けてポーズのプログラムはできません。
- プログラムしたポーズの表示は、画面では"II"表示窓では"PA"が表示されます。

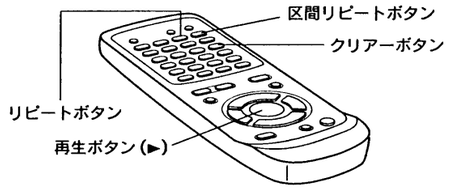
なるほど プログラムした内容を確認することができます。
プログラム再生中やプログラム再生が終わったあとにプログラムボタンを押すと、プログラムした内容が画面に表示されます。もう一度プログラムボタンを押すと、プログラム内容表示が消えます。

なるほど プログラムした内容を変えることができます。

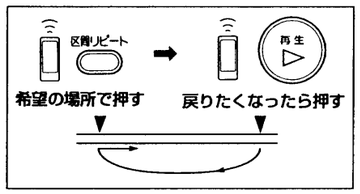
プログラムしたチャプターナンバーやトラックナンバー、ポーズを削除するには：
1. プログラムボタンを押します。
2. スキップボタン►►I、I◄◄を押して、▶（カーソル）を変更するチャプターナンバーやトラックナンバー、ポーズの左側へ移します。
プログラム内容を変更する場合は、新しい数字を押します。また、ポーズをプログラムするときは、一時停止ボタンを押します。
取消す場合は、クリアーボタンを押します。
3. プログラムボタンを押して完了です。
プログラムボタンの代わりに再生ボタン►を押すと、最初にプログラムしたチャプターやトラックからプログラム再生を始めます。
- 再生中のチャプターやトラックの削除、訂正はできません。

プログラムした内容を消すには：
- ディスクテーブルを開けます。
- 停止状態でクリアーボタンを押します。
- 再生中にクリアーボタンを押すとプログラム再生が解除され、ふつうの再生にもどります。さらにもう一度押すとプログラムの内容が消えます。

繰り返して見る・聞く

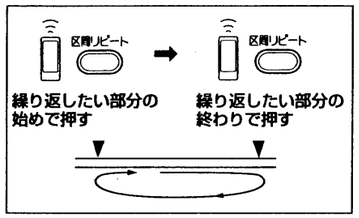


指定した場所に戻るには



再生中に区間リピートボタンを押します。
次に再生ボタンを押します。
- 解除したい場合はクリアーボタンを押してください。

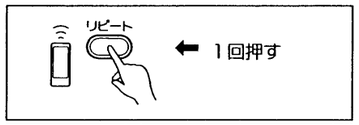
指定した区間を繰り返し再生するには



再生中に区間リピートボタンを押します。
もう1度区間リピートボタンを押します。

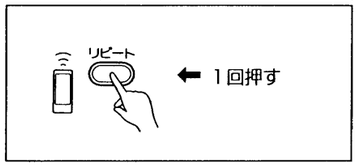
おや? ● 繰り返し再生では、CDVのオーディオパートとビデオパートにまたがると、繰り返し再生はできません。
● A・B面をまたがる繰り返し再生はできません。

再生中の曲やチャプターを繰り返すには



再生中にリピートボタンを押します。

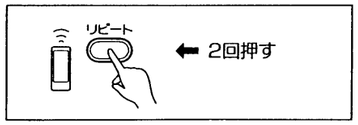
プログラムを繰り返し再生するには



プログラム再生中にリピートボタンを押します。
- プログラムについては28ページをご覧ください。

プログラムしたチャプターやトラックをプログラム順に繰り返し再生します。

ディスクの片面すべてを繰り返し再生するには

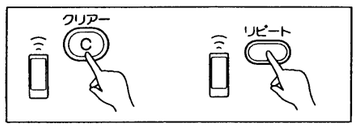


再生中にリピートボタンを2回押します。

ディスクの両面を繰り返し再生するには

再生中にリピートボタンを3回押します。
A面からB面、またはB面からA面へと繰り返し再生が始まります。

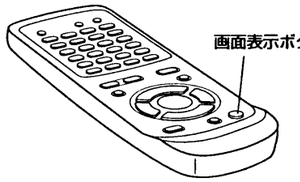
繰り返し再生を止めるには



クリアーボタンを押します。
またはリピートボタンを押します。

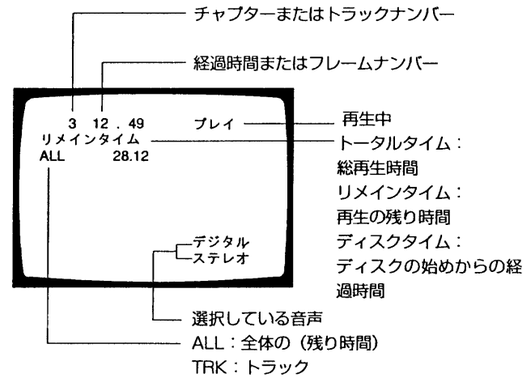
おや? チャプターのないLDではチャプター繰り返しはできません。

画面表示について



リモコンの画面表示ボタンで切り換えます。

実際の表示は次のようになります。
（表示例は標準／カラオケ／外部入力切り換えスイッチ“標準”にしている場合です。



何も操作せずに長時間（約80分）画面表示をしたままにしておくと、自動的に画面表示は消えます。いずれかのボタンを押すと、再び画面表示します。

	CDVまたはCDでは	TOC付きLD（標準ディスク）	TOC付きLD（長時間ディスク）
①	再生中の曲の経過時間	再生中のフレームナンバー	ディスクの始めからの経過時間
②	リメインタイムトラック：再生中の曲の残り時間	*ディスクタイム：ディスクの始めからの経過時間	*リメインタイムオール：再生中のところからディスクの最後までの残り時間
③	リメインタイムオール：再生中のところからディスクの最後までの残り時間	*リメインタイムオール：再生中のところからディスクの最後までの残り時間	*トータルタイム：ディスクの始めから終わりまでの総再生時間
④	トータルタイム：ディスクの始めから終わりまでの総再生時間	*トータルタイム：ディスクの始めから終わりまでの総再生時間	画面表示が消える
	画面表示が消える	画面表示が消える	

TOCなしLDでは：
フレームナンバー（標準ディスク）または、ディスクの始めからの経過時間（長時間ディスク）のみの表示となります。

ご注意 TOC付きLDであっても、クイックターンオンのときは＊の表示はできません。（23ページ参照）
一度停止させクイックターンオフで再生してください。

故障かな…とお考えの前に

故障かな？と思ったらチエックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口一覧表」のご相談窓口にお問い合わせください。

LDとCD共通

	症状	考えられる原因	参照ページ
操作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。 2. 自動的にポーズになってしまう。	● ディスクが極端に汚れている。 ● ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 ● プレーヤーの内部が結露している。 ● 1曲停止ボタンのスイッチが入っている。	4ページ 11ページ 2ページ 16ページ
リモートコントロール	3. リモコンで操作できない。 4. テレビなどが誤動作する。	● プレーヤーと離れすぎている。または、リモコン受光窓との角度がありすぎる。 ● 電池が消耗している。 ● ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。	13ページ 3ページ
音声	5. 音が出ない。音が歪む。	● 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。 ● 接続プラグや端子が汚れている。 ● ポーズモードになっている。 ● ステレオアンプとの接続が間違っている。 ● ステレオアンプの操作が間違っている。（アンプの取扱説明書を参照してください。） ● ステレオアンプのPHONO入力端子と接続している。	5、6ページ 7ページ

LD

	症状	考えられる原因	参照ページ
映像、画質	6. 映像がでない。 7. 映像がでない、映像は出るが質が悪い、乱れる。 8. 静止画の一部がブレる。	● テレビの電源が入っていない。 ● テレビが接続されている入力に合っていない。 ● VHFアンテナがRFコンバーターユニットにつながれていない。 ● VHFとUHFが混合されて送られているケーブルをRFコンバーターユニットにつないでいる。 ● ディスクが極端に変形（そりなど）している。 ● 接続プラグの差し込みが不十分、または、外れている。 ● アッテネータースイッチがOFFになっている。 ● 標準ディスクでも動きの激しい場面では、静止画の一部がブレることがあります。	5、6ページ 4ページ 5、6ページ 7ページ
音声	9. 音声が波打ったようになる。 10. 音声がでない。	● DXマークのついていないディスクをCXシステムをオンにして再生している。 ● 静止画・コマ送り再生では音は出ません。	23ページ 27ページ
スキップ、サーチ	11. スキップ、プログラム、サーチができない。 12. サーチ時間が長い。（40秒以上かかる） 13. スタート時間が長いものがある。 14. 指定したナンバーと違う場面を再生する。	● チャプターナンバーの記録されていないディスクを再生している。（チャプターナンバーの記録されていないディスクでは、チャプターを利用した機能は働きません。） ● データの読み取りに時間のかかるディスクがあります。 ● データの読み取りに誤りがある場合がある。（故障ではありません。） ● データの読み取りに誤りがある場合がある。（故障ではありません。）	26ページ 28ページ

CD

	症状	考えられる原因	参照ページ
操作	15. 再生を始めてもすぐに止まってしまう。	● ディスクが極端に汚れている。 ● ディスクの裏表が逆にセットしてある。。 ● ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。	4ページ 11ページ 11ページ

カラオケ

	症状	考えられる原因	参照ページ
音声	16. 音が出ない。 17. 音が割れる、音が歪む。 18. 音声多重ディスクを再生しても歌手の歌が出ない。 19. ガイドボーカル音量が調整できない。 20. ワンタッチカラオケボタンを押しても歌手の声が小さくならない。	● 標準／カラオケ／外部入力の切り換えスイッチが外部入力になっている。 ● アッテネータースイッチがOFFになっている。 ● 標準／カラオケ／外部入力の切り換えスイッチがカラオケになっていない。 ● ガイドボーカル音量のツマミが小になっている。 ● ワンタッチガイドボーカルボタンのスイッチがはいっていない。 ● 標準／カラオケ／外部入力の切り換えスイッチが標準になっている。 ● ワンタッチガイドボーカルボタンのスイッチが入っていない。 ● 歌手の声が中央に定位していないものは、小さくなりません。	7ページ 14ページ 17ページ 17ページ
操作	21. 1曲停止しない。 22. 自動的にポーズになってしまう。 23. キーコントロール、マイク入力、ワンタッチカラオケなどのカラオケ機能が操作できない。 24. マイクでキーコントロールやワンスモアができない。	● 標準／カラオケ／外部入力の切り換えスイッチが標準または外部入力になっている。 ● 1曲停止ボタンのスイッチが入っていない。 ● 一曲停止ボタンのスイッチが入っている。 ● 標準／カラオケ外部入力の切り換えスイッチが標準になっている。 ● マイクコントロール端子を接続していない。 ● マイクのスイッチが入っていない。	16ページ 16ページ 16ページ

採点機能

	症状	考えられる原因	参照ページ
操作	25. ワンタッチカラオケ、お助けボーカル、プログラム、繰り返し、サラウンドの機能が働かない。 26. 採点モードにならない。 27. 正確な採点ができない。	● 採点動作の時は、これらの機能は働きません。 ● 標準／カラオケ／外部入力の切り換えスイッチがカラオケになっていない。 ● 採点機能、採点バトルのボタンのスイッチが入っていない。 ● ディスクの種類または曲によっては、歌唱の音程が正確に取り出せない場合があります。 ● 歌のないところで歌うと採点の対象となり、点数が下がります。	19、20ページ

グラフィックス

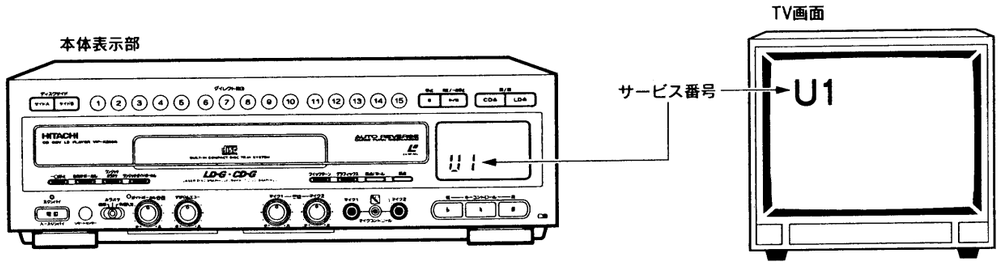
	症状	考えられる原因	参照ページ
映像・画像	28. グラフィックスの映像が出ない。 29. 再生中にグラフィックス映像の1部が乱れたり、欠けたりする。 30. 早送り、早戻し、一時停止、選曲／スキップ、ワンスモアをしたらグラフィックスの映像が乱れたり文字が欠けたりする。	● ディスクにグラフィックスが記録されていない。 ● ディスクに傷がある。 ● ディスクが汚れている。 ● 操作後、しばらくすると正しいグラフィックス映像になります。停止ボタンを押して再生を止めて、もう一度再生を始めてください。	4ページ

ご注意：

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

故障かな…とお考えの前に（つづき）

本機は自己診断機能を持っています。
本機をご使用中に異常を検出すると、本体表示部及びテレビ画面上に以下の表示（サービス番号）を自動的に表示します。まず、「対応のしかた」に従ってください。



サービス番号	本機の状態	対応のしかた
U1 U2	● ディスクが正しくセットされていないと考えられます。 ● ディスクが正しくセットされている場合は、ディスクの汚れが原因と考えられます。	● ディスクをディスクテーブルの溝にそってセットしなおしてください。 ● ディスクを柔らかい布で拭いてください。（4ページ参照） 一度ディスクテーブルを開けてから、もう一度再生ボタン►を押してください。
F5 P2 L3 E4	● ディスクが2枚重ねてセットされていると考えられます。 ● ディスクが1枚セットされている場合は、ディスクの汚れが原因と考えられます。 （P、F、L、E以降の数字は本機の状態によって変わります。）	● ディスクを1枚だけディスクテーブルにセットしてください。 ● ディスクを柔らかい布で拭いてください。（4ページ参照） ● 一度ディスクテーブルを開けてから、もう一度再生ボタン►を押してみてください。 再度同じ表示がでた場合は異常と考えられます。 ● 修理を依頼されるときに、本体表示部またはTV画面の表示（サービス番号）をお知らせください。 （例えば「E4」と表示しているときは、「サービス番号、E4」とお知らせください。）
H0 H1 H2	● 異常と思われます。	● 修理を依頼されるときに、本体表示部またはTV画面の表示（サービス番号）をお知らせください。 （例えば「H1」と表示しているときは、「サービス番号、H1」とお知らせください。）

用　語

LD用語

チャプターナンバー
ディスクをいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の“章”番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。
- ディスクによってはチャプターナンバーが記録されていないものもあります。

フレームナンバー
CAVディスクのすべてのフレームごとに記録された番号です。希望のシーンをこのフレームナンバーで探すフレームサーチなどの操作ができます。

タイムナンバー
CLVディスク、またはTOC*1付のCAVディスクに記録された、ディスクの最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

CDV／CD用語

トラックナンバー
ディスクをいくつかのセクションで区切り番号付けした曲番のことです。CDVディスクではオーディオパートからビデオパートにわたってトラックナンバーが記録されています。希望の曲を素早く見つけるトラックサーチなどの操作ができます。

TOC（＊1）
すべてのCD、CDVディスクには音声信号以外のTOC（Table Of Contents）という情報ディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。
- LDディスクにもTOCが記録されているものがあります。
- TOC付きLDとCDVは、同じ「光学式デジタル音声付きビデオディスクシステム」の仲間です。

グラフィックスディスク
映像や音声信号以外にサブコードというデータが記録されています。このデータにグラフィックスが記録されています。
LDグラフィックスディスク：サブコードに映画の台詞や歌の歌詞などが記録されています。
CDグラフィックスディスク：カラオケ用の歌詞やカラオケ演奏を盛り上げるグラフィックス（絵）などが記録されています。

LD（レーザーディスク）
レーザーディスクには、信号の記録方式により標準ディスク（CAV）と長時間ディスク（CLV）があります。

CAV
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔標準ディスク／CAV〕、または〔Standard play〕と表示されています。

CLV
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔長時間ディスク／CLV〕、または〔Extended Play〕と表示されています。

デジタル音声付きレーザーディスク
アナログ音声信号に加えて、デジタル音声信号も合わせて記録されたディスクです。レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドが同時に楽しめます。

digital AUDIO または digital SOUND

デジタル音声付きマルチオーディオディスク
デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声が記録されています。

digital AUDIO とMULTI AUDIO または digital SOUND MULTI AUDIO

デジタル音声とアナログ音声を切り換えて、それぞれの音声をお楽しみいただけます。

AC-3 ディスク
- 本プレーヤーはドルビーAC-3 DOLBY SURROUND PRO LOGIC 対応LDソフトを使用しても5.1chデジタルサラウンド音声を楽しむことはできません。
- ドルビーAC-3対応LDソフトを本プレーヤーで再生すると、デジタルのステレオ音声またはアナログのモノ音声で楽しめます。

CDV〔ビデオ付きコンパクトディスク〕
- ビデオパート付きのCDです。CDVの再生時間、25分のうち20分に通常のCDと同じデジタルオーディオ音声が記録されています（オーディオパート）。残りの5分に映像とデジタルオーディオ音声が記録されています（ビデオパート）。

サラウンドとは
“…を取り巻く、囲む”といった意味です。臨場感や拡がり感のあるカラオケを楽しめます。

エコーとは
“反響”といった意味です。お風呂場で歌ったときのような声の響く効果のことです。

仕様

一般
型式 ..... レーザービジョン
ビデオディスクシステムおよび
コンパクトディスク
テジタルオーディオシステム
使用レーザー ..... 半導体レーザー：波長780 nm
許容動作温度 ..... +5℃ ～ +35℃
許容動作湿度 ...5% ～ 85%（結露のないこと）

使用ディスク
レーザービジョンディスク
30 cm標準ディスク（CAV） 両面最大1時間
再生可
30 cm長時間ディスク（CLV） 両面最大2時間
再生可
20 cm標準ディスク（CAV） 両面最大28分
再生可
片面最大14分再生可
20 cm長時間ディスク（CLV） 両面最大40分
再生可
片面最大20分再生可
回転数 ..... 標準ディスク1800 rpm
長時間ディスク1800 rpm ～ 600 rpm
（30 cmディスク時）

コンパクトディスク
直径 ..... 12 cm、8 cm
厚さ ..... 1.2 mm
回転方向（読み取り面） ..... 反時計方向
線速度 ..... 1.2 ～ 1.4 m/sec
最大再生時間 ..... 12 cm：74分／8 cm：20分

ビデオ付きコンパクトディスク
直径 ..... 12 cm
厚さ ..... 1.2 mm
回転方向（読み取り面） ..... 反時計方向
線速度 ..... オーディオ部：1.2 ～ 1.4 m/sec
ビデオ部：11 ～ 12 m/sec
最大再生時間 ..... ビデオ部：5分再生可（CLV）
オーディオ部：20分再生可（デジタル）
☆再生時間はディスクによって異なります。

ビデオ出力〈２系統〉
出力レベル ..... 1 Vp-p（75Ω負荷時、同期負）
出力端子 ..... ピンジャック

オーディオ出力〈２系統〉
アナログ音声出力時 ..... 200 mVrms
（1 kHz、40%）
デジタル音声出力時 ..... 200 mVrms
（1 kHz、−20 dB）
チャンネル数 2チャンネル

その他の端子
VHFアダプター ..... VM-RF80（別売）接続用

その他
電源 ..... AC100V、50/60 Hz
消費電力 ..... 28 W
質量（重量） 7.1kg
外形寸法 ..... 430（幅）X 132（高さ）
X 410（奥行）mm

付属品
リモートコントロールユニット（VIP-RM88G） 1
単4乾電池（R03/UM-4） 2
ビデオコード 1
オーディオコード 1
取扱説明書 1
保証書 1
ご相談窓口一覧表 1

上記の使用および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービスについて（必ずお読みください）

保証について

- この商品は保証書付きです。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 修理を依頼される前に、32～34ページの「故障かな？･･･と考える前に」の項にもとづいてお調べいただき、それでも具合の悪いときは、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
- セットの改造は絶対にしないでください。故障の原因になるばかりでなく、安全面での保証ができなくなります。尚、改造された製品については、保証期間中でも、改造セットが原因の事故に関しては、責任を負いかねます。

転居後のアフターサービスについて

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスをうけられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

補修用性能部品の保有期間について

当社は、この製品の補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。

- 購入店名などを記入しておきますと、アフターサービスのとき便利です。

購入店名　　電話（　）

購入年月日　　年　月　日

- 万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは、右の内容をお知らせください。

形名=VIP-KZ88G
症状=できるだけ詳しく
道順=付近の目印も

著作権について

- 放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- したがって、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部におたずねください。

社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC）

〒105　東京都港区西新橋1-7-13
TEL（03）3502-6551（大代表）FAX（03）3508-8183

●北海道支部（業務地域　北海道）
〒060　札幌市中央区北1条西3-2　大和銀行札幌ビル
TEL（011）221-5088（代表）FAX（011）221-1311
●盛岡支部（業務地域　岩手・青森・秋田）
〒020　盛岡市菜園1-3-6　農林会館
TEL（0196）52-3201（代表）FAX（0196）52-4010
●仙台支部（業務地域　宮城・山形・福島）
〒980　仙台市青葉区中央2-1-7　仙台三和ビル
TEL（022）264-2266（代表）FAX（022）265-2706
●大宮支部（業務地域　埼玉・栃木・群馬・長野・新潟）
〒331　大宮市桜木町1-7-5　ソニックシティビル
TEL（048）643-5461（代表）FAX（048）643-3567
●東京支部（業務地域　東京都東部・千葉・茨城）
〒104　東京都中央区銀座1-15-6　共同ビル銀座１丁目
TEL（03）3562-4455（代表）FAX（03）3562-4457
●西東京支部（業務地域　東京都西部・山梨）
〒160　東京都新宿区新宿5-17-5　第５荒井ビル
TEL（03）3232-8301（代表）FAX（03）3232-7798
●横浜支部（業務地域　神奈川）
〒231　横浜市中区日本大通り60　朝日生命横浜ビル
TEL（045）662-6551（代表）FAX（045）662-6548
●静岡支部（業務地域　静岡）
〒420　静岡市追手町9-22　読売静岡ビル
TEL（054）254-2621（代表）FAX（054）254-0285
●中部支部（業務地域　愛知・岐阜・三重）
〒450　名古屋市中村区名駅2-45-7　松岡ビル
TEL（052）583-7590（代表）FAX（052）583-7594
●北陸支部（業務地域　石川・富山・福井）
〒920　金沢市香林坊2-3-25　金沢日産生命ビル
TEL（0762）21-3602（代表）FAX（0762）21-6109
●京都支部（業務地域　京都・滋賀・奈良）
〒600　京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8　京都三井ビル
TEL（075）251-0134（代表）FAX（075）251-0414
●大阪支部（業務地域　大阪南部・和歌山）
〒542　大阪市中央区南船場4-3-11　豊田ビル
TEL（06）244-0351（代表）FAX（06）244-1970
●大阪北支部（業務地域　大阪北部）
〒542　大阪市中央区南船場4-3-11　豊田ビル
TEL（06）244-7077（代表）FAX（06）244-1970
●神戸支部（業務地域　兵庫）
〒650　神戸市中央区海岸通6番地　建隆ビルII
TEL（078）322-0561（代表）FAX（078）322-0975
●中国支部（業務地域　広島・岡山・山口・鳥取・島根）
〒730　広島市中区胡町4-21　朝日生命広島胡町ビル
TEL（082）249-6362（代表）FAX（082）246-4396
●四国支部（業務地域　香川・徳島・高知・愛媛）
〒760　高松市寿町2-2-10　住友生命高松寿町ビル
TEL（0878）21-9191（代表）FAX（0878）22-5083
●九州支部（業務地域　福岡・大分・佐賀・長崎・熊本）
〒812　福岡市博多区博多駅前2-1-1　福岡朝日ビル
TEL（092）441-2285（代表）FAX（092）441-4218
●鹿児島支部（業務地域　鹿児島・宮崎）
〒892　鹿児島市東千石町1-38　アイムビル
TEL（0992）24-6211（代表）FAX（0992）24-6106
●那覇支部（業務地域　沖縄）
〒900　那覇市久茂地1-3-1　久茂地セントラルビル
TEL（098）863-1228（代表）FAX（098）866-5074

メ　モ